

富津市外居住者  
アンケート調査報告書

平成 27 年 9 月

富 津 市



# 目 次

調査の概要.....	1
1. 「富津市」について.....	2
(1) 富津市の認知度.....	2
(2) 富津市のイメージ.....	4
(3) 富津市に関して認知しているもの.....	12
(4) 富津市の情報の入手方法.....	16
2. 「観光・交流」について.....	18
(1) 観光地の選択基準.....	18
(2) 富津市への観光来訪意思.....	20
(3) 富津市へ来訪したくない理由.....	22
(4) 富津市への観光来訪経験.....	24
(5) 観光来訪地.....	26
(6) 富津市への観光再訪意思.....	28
(7) 富津市へ再訪したくない理由.....	30
3. 「移住」について.....	32
(1) 富津市への移住意向.....	32
(2) 富津市へ移住する場合の要因.....	34
(3) 富津市へ移住したくない理由.....	36
(4) 地方移住で求める支援策.....	38
4. その他.....	40
(1) ふるさと納税への意思.....	40
(2) ふるさと納税をしたくない理由.....	42
5. 回答者の属性.....	44
(1) 性別.....	44
(2) 年齢階層.....	44
(3) 居住地区.....	44
(4) 職業.....	45
(5) 家族構成.....	45



## 調査の概要

### 1. 趣 旨

- 「富津市総合戦略」の策定にあたり、市外居住者の富津市に関する認知度、来訪・移住に関する意識などを把握するためにアンケート調査を実施するもの。

### 2. 調査の方法

#### (1) 調査時期

- ・平成 27 年 8 月 5 日～8 月 7 日

#### (2) 調査対象

- ・以下の地域に居住する 20 歳代～60 歳代の男女 計 1,000 人
  - ①「県内都市部」：市川市、船橋市、浦安市、習志野市、千葉市 300 人
  - ②「近隣自治体」：木更津市、君津市、袖ヶ浦市、市原市 300 人
  - ③「安房地域」：館山市、南房総市、鴨川市、鋸南町 100 人
  - ④「東京都・神奈川県」：東京 23 区、横浜市、川崎市 300 人

#### (3) 調査方法

- ・インターネットを介したWEBアンケート調査

### 3. 調査項目

- 「富津市」について
- 「観光・交流」について
- 「移住」について
- その他
- 回答者の属性

## (参考) 調査結果の見方

1. 各設問の比率は、傾向をわかりやすくするために「無回答」を除外して算出している。
2. 本文中の「SA」、「MA」は以下の略称である。また、「n」はその設問の有効回答数を示す。
  - ・「SA」(Single Answer)：単一回答形式（選択肢の中から 1 つを選択してもらう設問）
  - ・「MA」(Multiple Answer)：複数回答形式（選択肢の中から複数を選択してもらう設問）
3. 掲載しているグラフ中の単位は、全て「%」で、各設問の標本数を 100%とした百分比で表示した。原則として小数点第 2 位を四捨五入してある。その結果として「SA」(単一回答形式)では、この比率の合計が 100%にならないこともある。
4. 「MA」(複数回答形式)では回答者が複数の選択肢を選択するため、百分比(%)の合計は、一般的に 100%を上回る。
5. 見やすさに配慮するために、以下の取組みを行っている。
  - 本文中のグラフ・表中の選択肢標記の語句の簡略化
  - クロス集計で比較対象とする選択肢を、主なもののみに限定

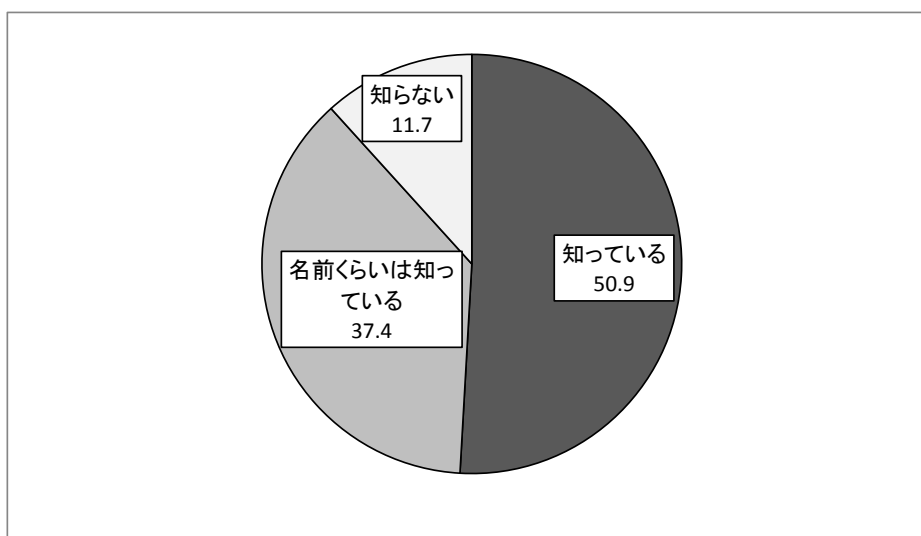
## 1. 「富津市」について

---

### (1) 富津市の認知度

問 あなたは、富津市のご存知ですか。(SA、n=1,000)

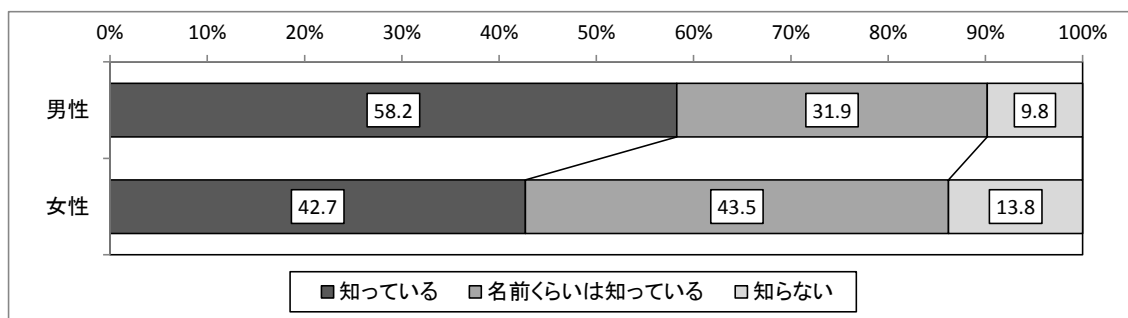
⇒回答者全体で見ると、富津市を「知っている」が50.9%、「名前くらいは知っている」が37.4%で、約9割が認知しているという結果となった。



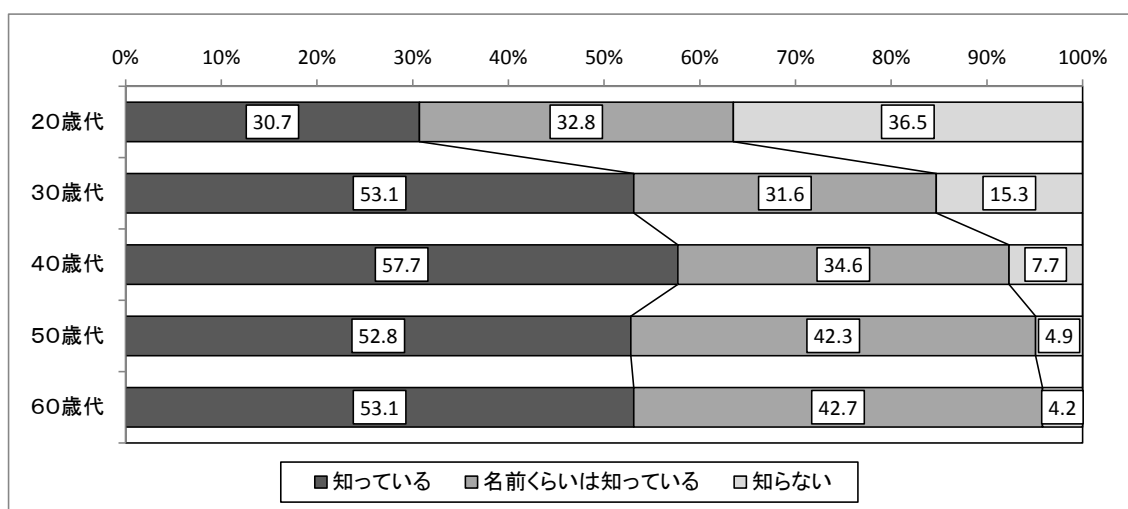
#### ■属性別動向

- 男性の方が「知っている」の比率が女性を大きく上回っている。ただし「名前くらいは知っている」まで含めると、比率の差は少なくなっている。
- 年齢階層別では、「知っている」の比率は30歳代以上では5割以上を占めている。しかし20歳代では、「知っている」は3割程度で、「知らない」(36.5%)の方が高い比率となっている。
- 当然のことながら近隣自治体、安房地域で「知っている」の比率が高いが、それぞれ「知らない」と回答している人もわずかだがいる。東京都・神奈川県では「知っている」の比率は24.7%にとどまっている。

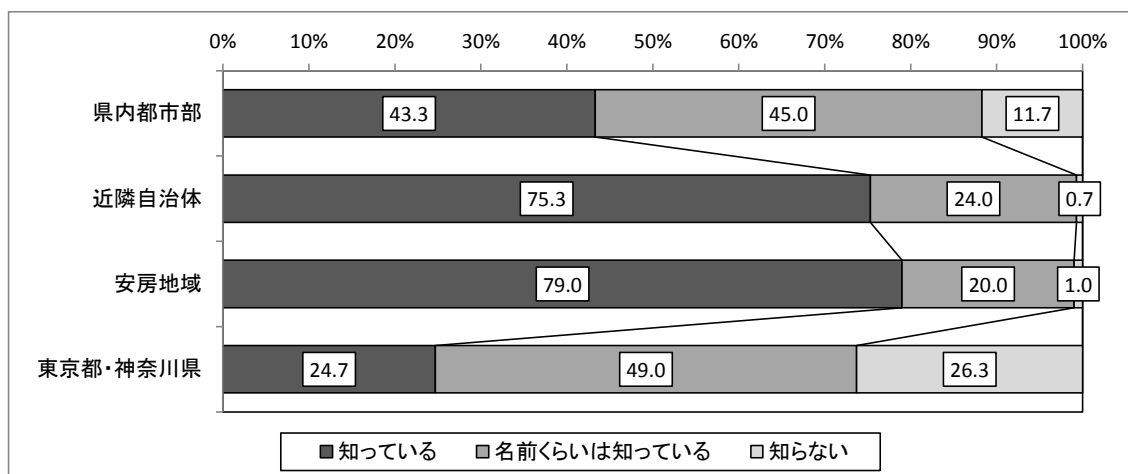
①男女別



②年齢階層別



③居住地別



## (2) 富津市のイメージ

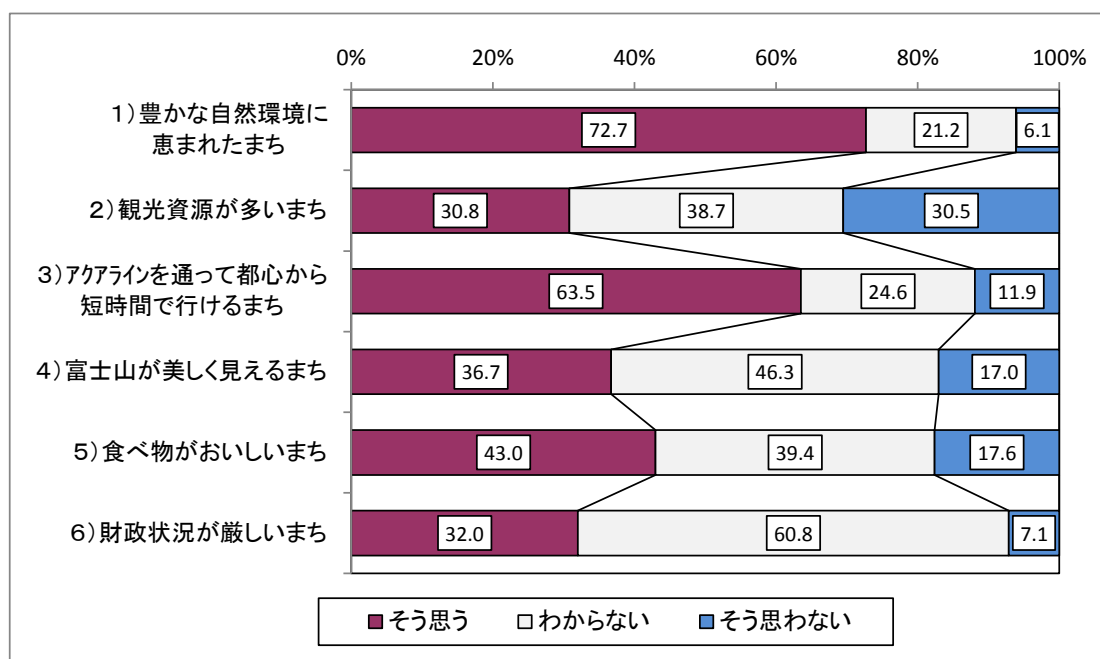
問 あなたは、富津市にどのようなイメージを持っていますか。(各SA、n=883)

⇒富津市は全体的に「豊かな自然環境に恵まれたまち」「アクアラインを通して都心から短時間でいけるまち」というイメージを持たれている。

⇒「観光資源が多いまち」に対しては、「そう思う」との回答は30.8%、「そう思わない」との回答が30.5%で、両者は拮抗している。

⇒「富士山が美しく見えるまち」「食べ物がおいしいまち」には4割前後が「そう思う」、2割弱が「そう思わない」と回答している。

⇒「財政状況が厳しいまち」に対しては、6割が「わからない」と回答している。

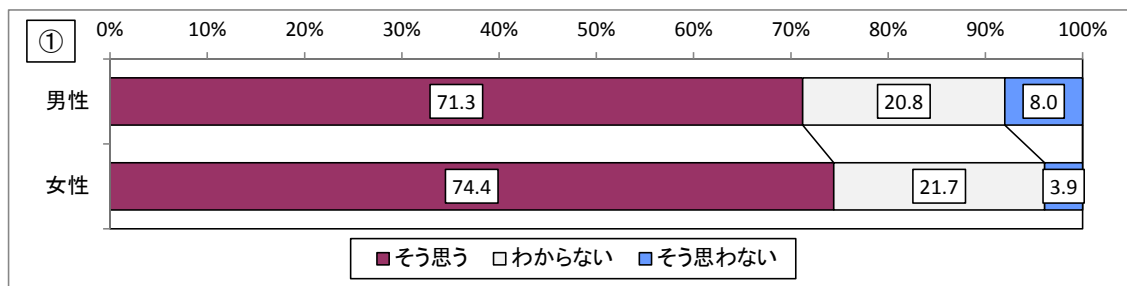


\*以下のページで、6つの項目ごとの属性別動向を整理する。

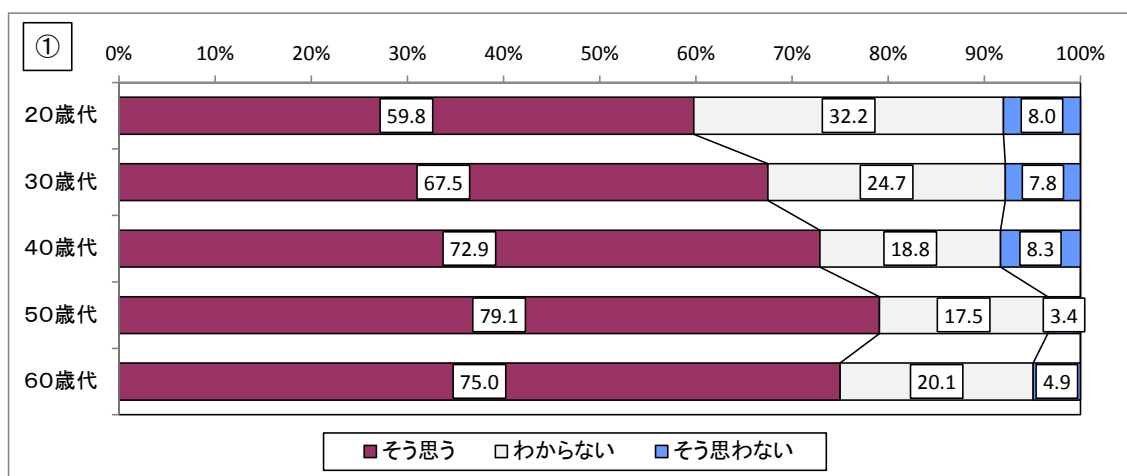


## 1) 豊かな自然環境に恵まれたまち

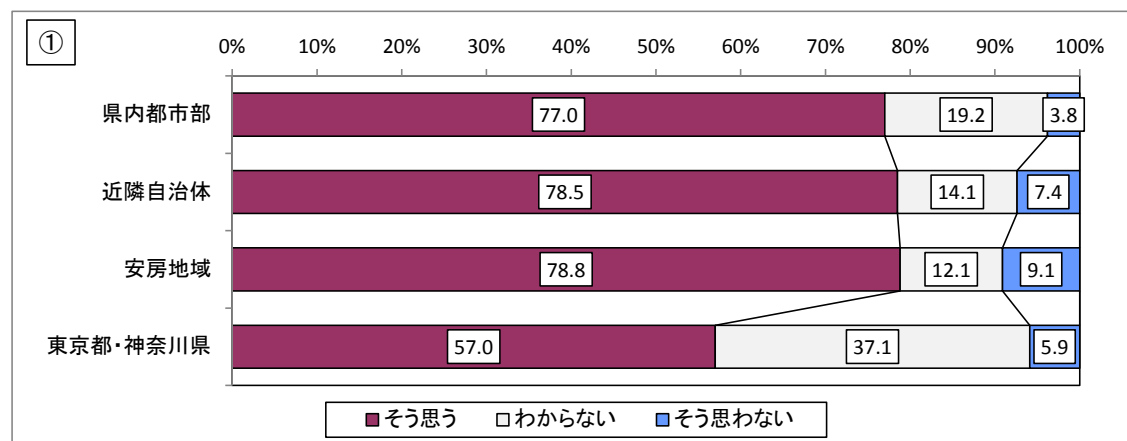
### ①男女別



### ②年齢階層別



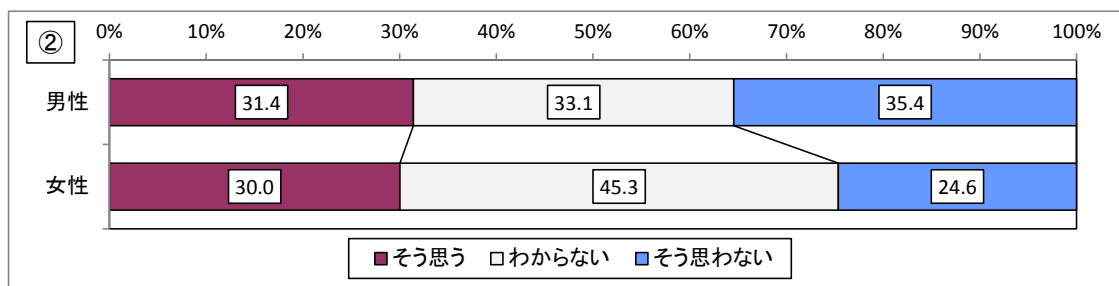
### ③居住地別



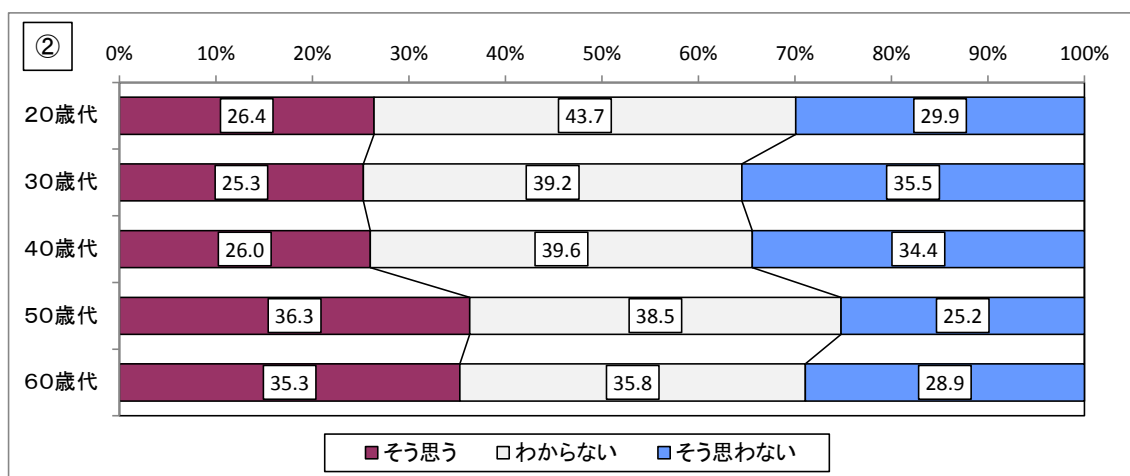
- ・男女別では、女性の方がやや「自然環境に恵まれたまち」とのイメージが強い。
- ・「そう思う」の比率は、20歳代から50歳代にかけて上昇し、60歳代ではやや低下している。
- ・東京都・神奈川県で「そう思う」の比率が他を大きく下回っている。

## 2) 観光資源が多いまち

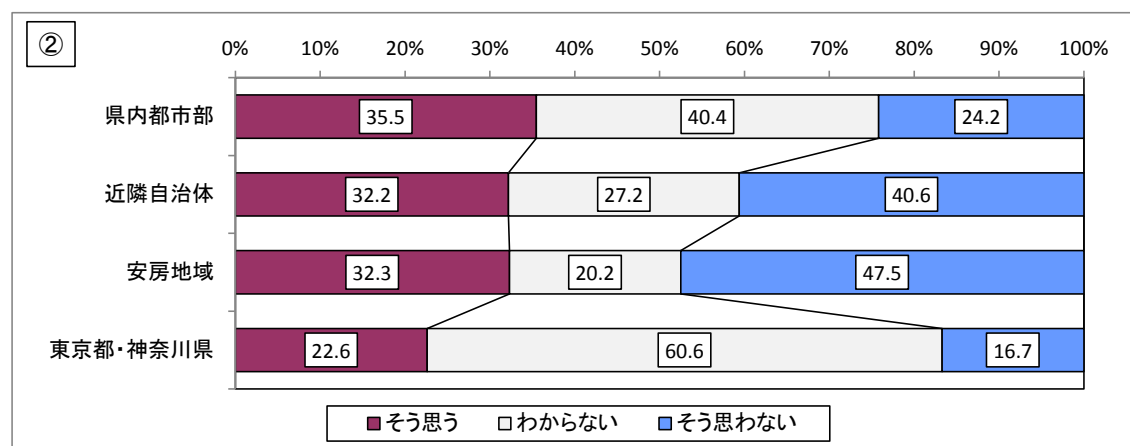
### ①男女別



### ②年齢階層別



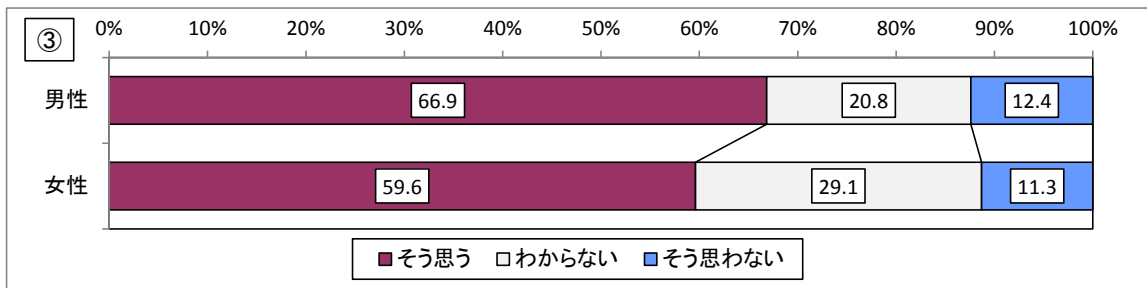
### ③居住地別



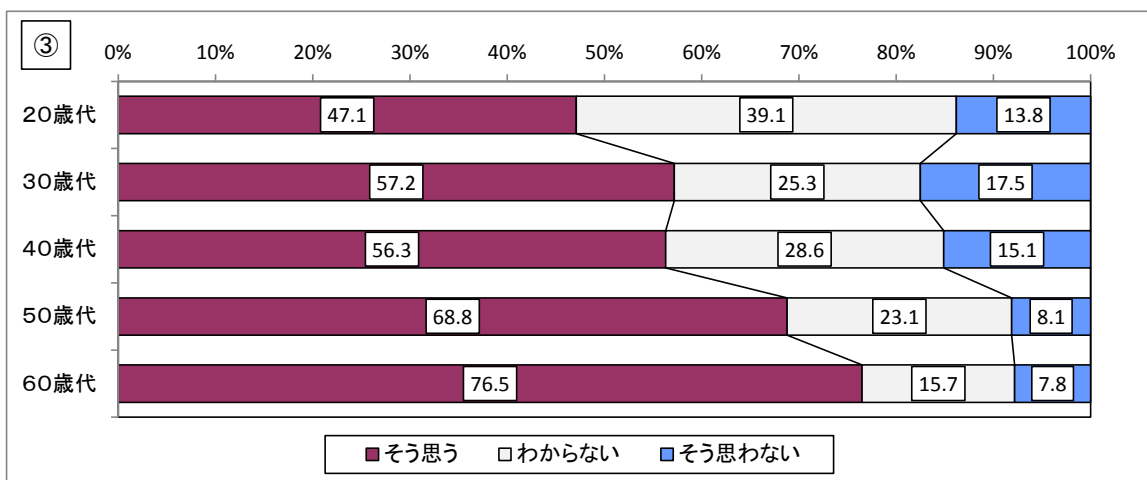
- ・男性で「そう思わない」の比率が高く、その分女性で「わからない」の比率が高くなっている。
- ・50歳代、60歳代で「そう思う」の比率が高い傾向がみられる。
- ・県内では県内都市部、近隣自治体、安房地域の順で「そう思わない」の比率が高くなっている。東京都・神奈川県では「わからない」が6割を占める。

### 3) アクアラインを通過して都心から短時間で行けるまち

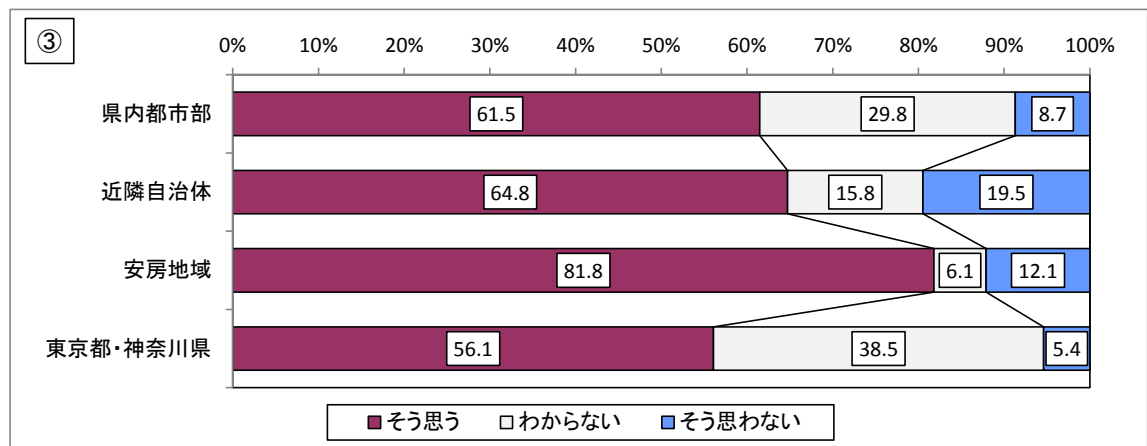
#### ①男女別



#### ②年齢階層別



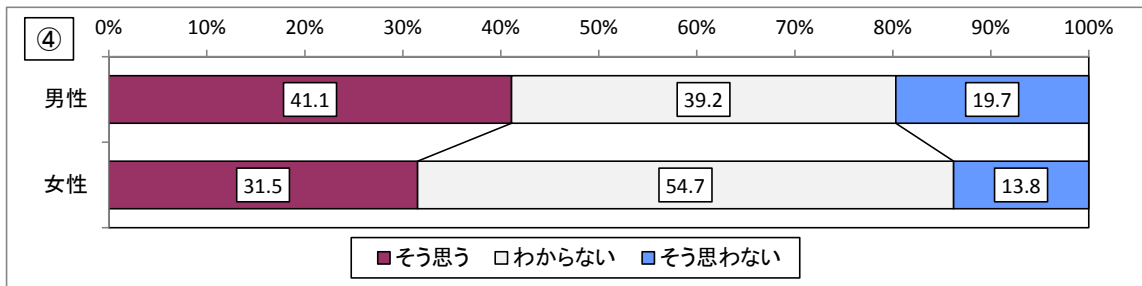
#### ③居住地別



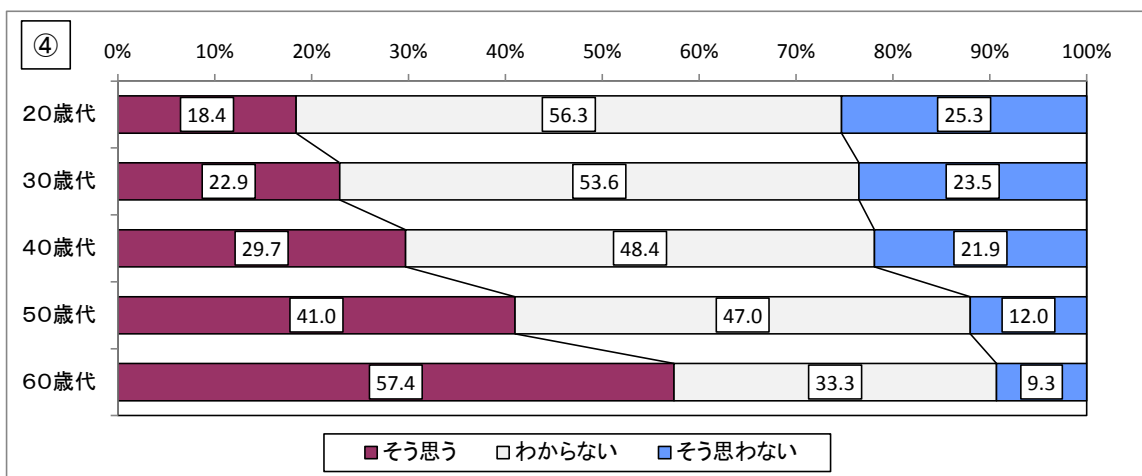
- 男性の方が「そう思う」の比率がやや高く、その分女性は「わからない」との回答が多い。
- 年齢が高くなるほど「そう思う」の比率が高くなる傾向がみられる。
- 安房地域で「そう思う」の比率が突出して高い。「そう思わない」の比率は、近隣自治体で最も高くなっている。

#### 4) 富士山が美しく見えるまち

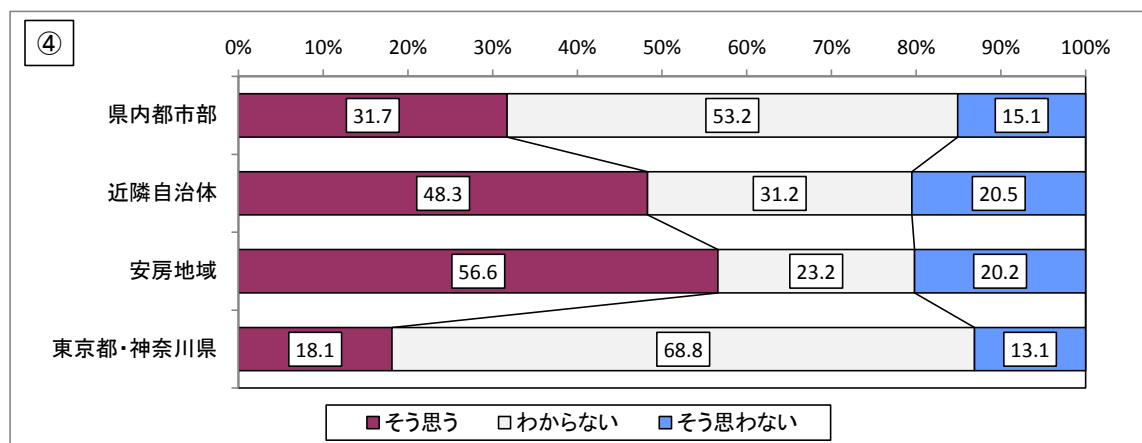
##### ①男女別



##### ②年齢階層別



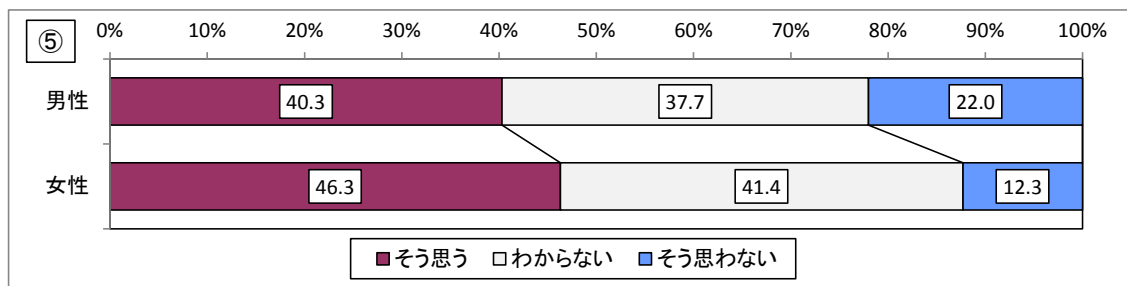
##### ③居住地別



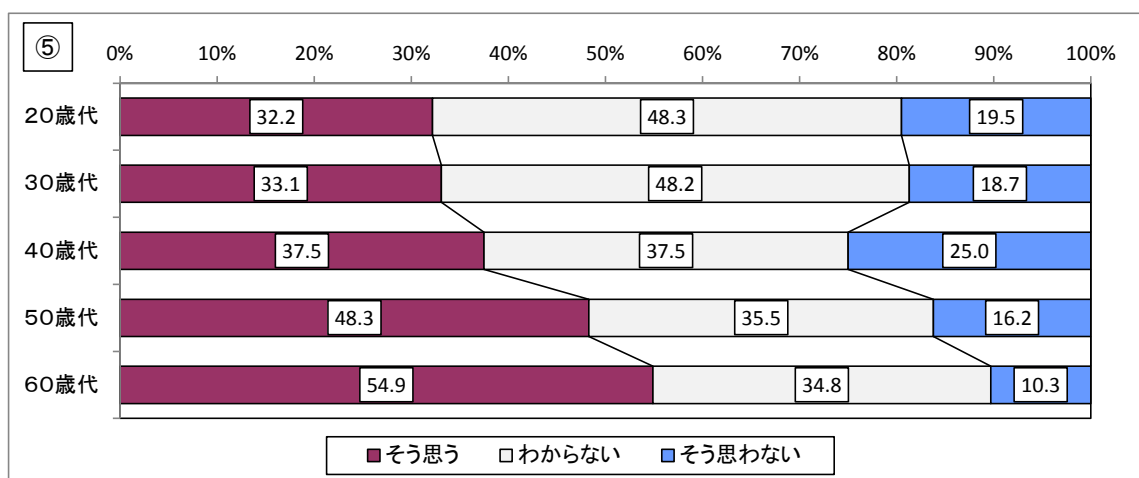
- ・「そう思う」「そう思わない」とも、比率は男性の方が高くなっている。女性では「わからない」との回答が多い。
- ・年齢が高くなるほど「そう思う」の比率が高くなっている。
- ・県内では県内都市部、近隣自治体、安房地域の順で「そう思う」の比率が高くなっている。東京都・神奈川県では「わからない」が多く、「富士山が美しく見えること」は十分に認知されていない。

## 5) 食べ物がおいしいまち

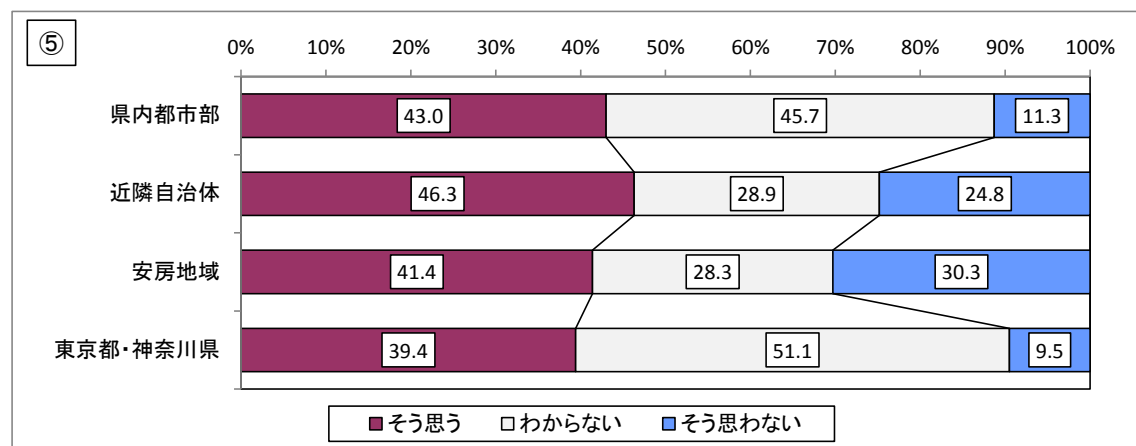
### ①男女別



### ②年齢階層別



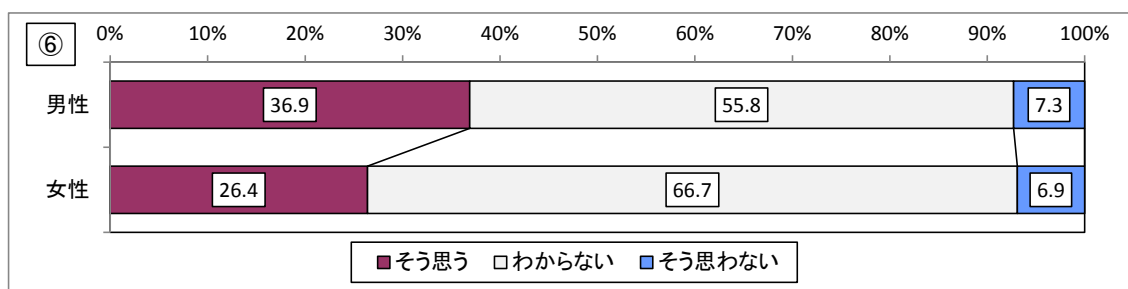
### ③居住地別



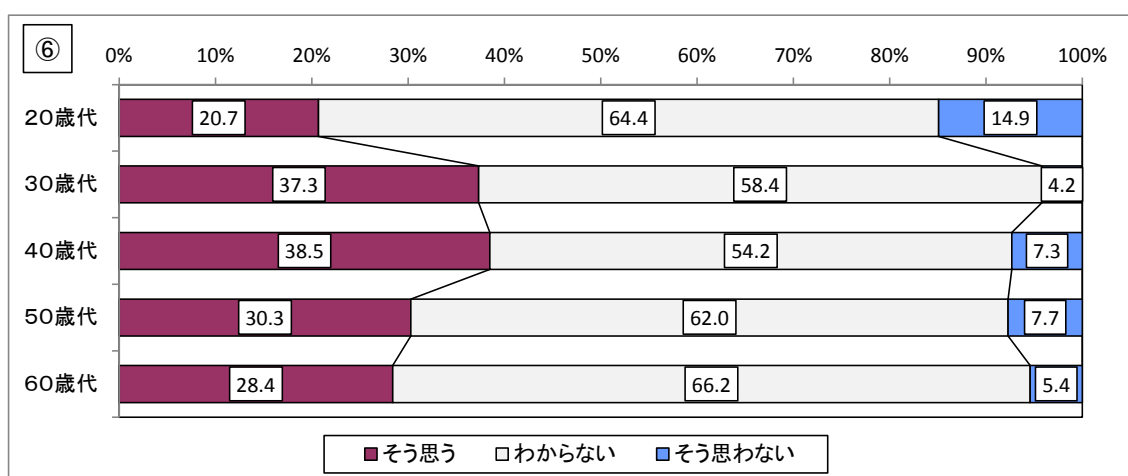
- ・女性の方が「そう思う」の比率が高くなっている。
- ・年齢が高くなるほど「そう思う」の比率が高くなっている。
- ・安房地域で「そう思わない」の比率が高い。「そう思う」の比率は近隣自治体でやや高くなっている。

## 6) 財政状況が厳しいまち

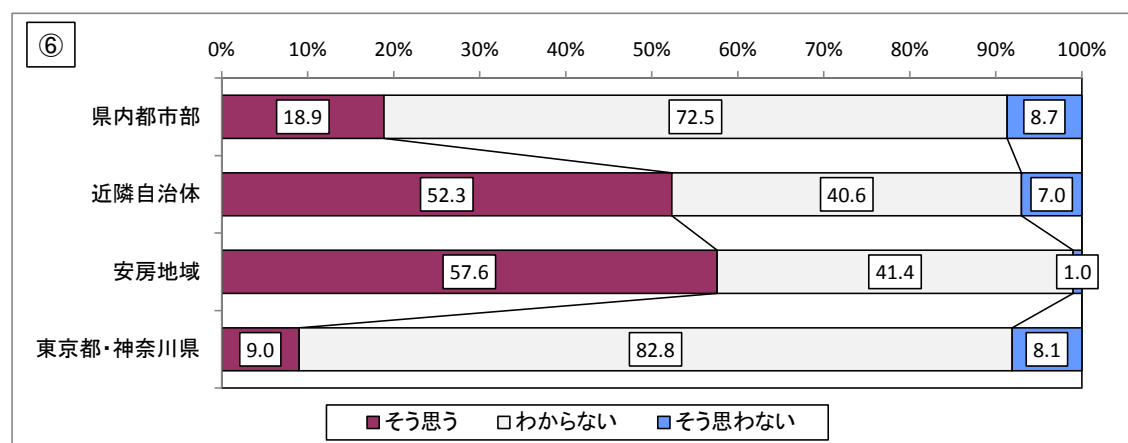
### ①男女別



### ②年齢階層別



### ③居住地別



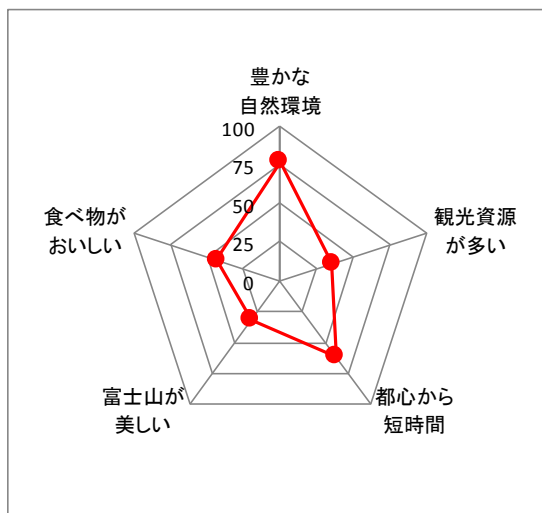
- ・男性で「そう思う」の比率が高くなっている。
- ・30歳代、40歳代で「そう思う」の比率が高い傾向がみられる。
- ・近隣自治体、安房地域で「そう思う」の比率が高い。一方、県内都市部などでは、富津市の財政状況について、あまり認知されていない。

(参考) 居住地別 各項目の「そう思う」の比率の比較

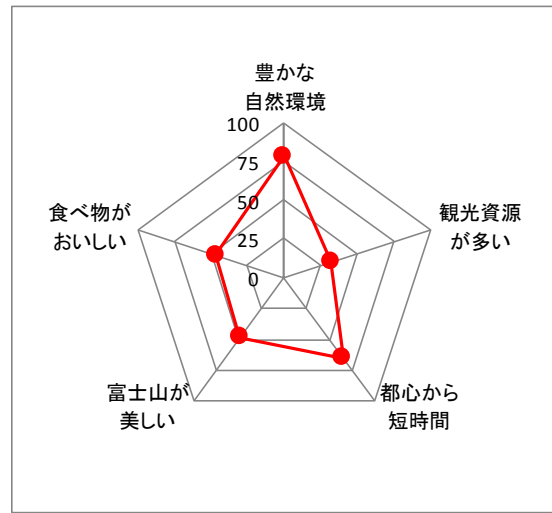
本設問の各項目のうち「プラスのイメージ」である5項目について、4つの居住地別の差異をレーダーチャートにてみる。

全体的にみて、「東京都・神奈川県」でプラスのイメージ(=「そう思う」の比率)が低い傾向がみとれる。他の3居住地は似た傾向にあるが、その中で「アクアラインを通して都心から短時間でいけるまち」、「富士山が美しく見えるまち」とのイメージが「安房地域」で高いことがみとれる。

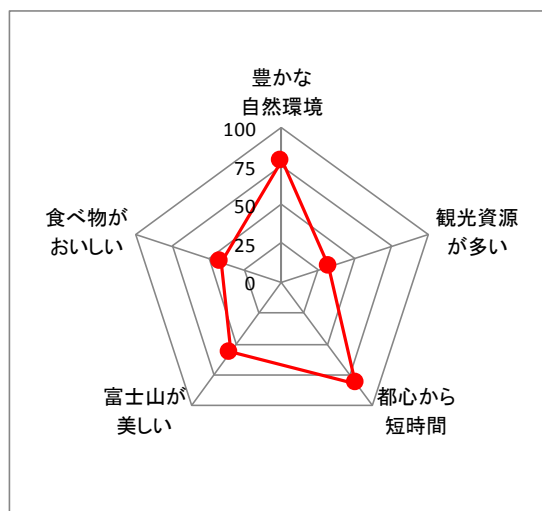
○県内都市部



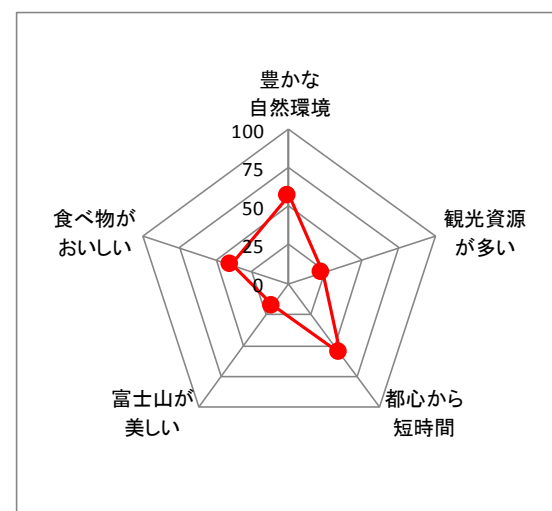
○近隣自治体



○安房地域



○東京都・神奈川県

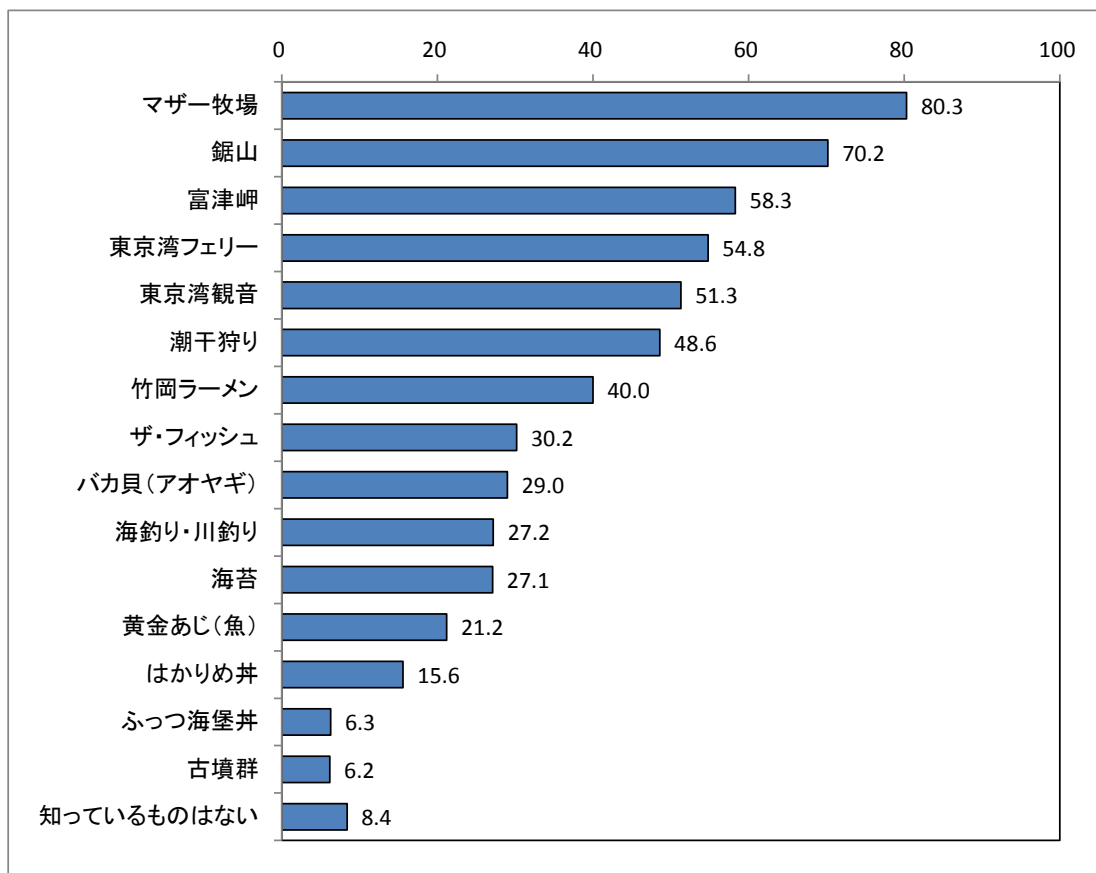


(3) 富津市に関して認知しているもの

問 あなたは、以下の富津市に係るものについてご存じですか。知っているものをお選びください。(MA、n=883)

⇒「マザー牧場」が 80.3%で、全項目の中で最も認知度が高い。以下「鋸山」(70.2%)、「富津岬」(58.3%)、「東京湾フェリー」(54.8%)、「東京湾観音」(51.3%)の順となっている。

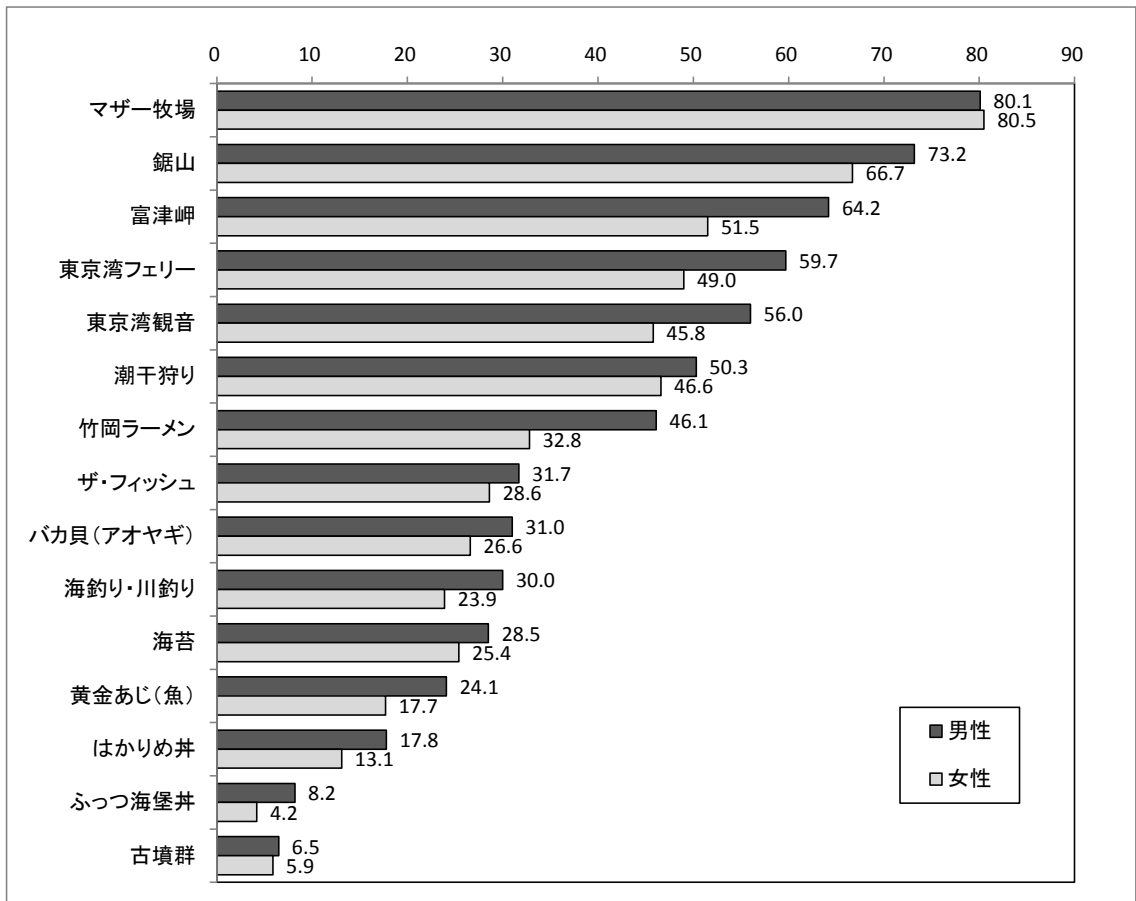
⇒「古墳群」(6.2%)、「ふつつ海堡井」(6.3%)などの知名度は低い。





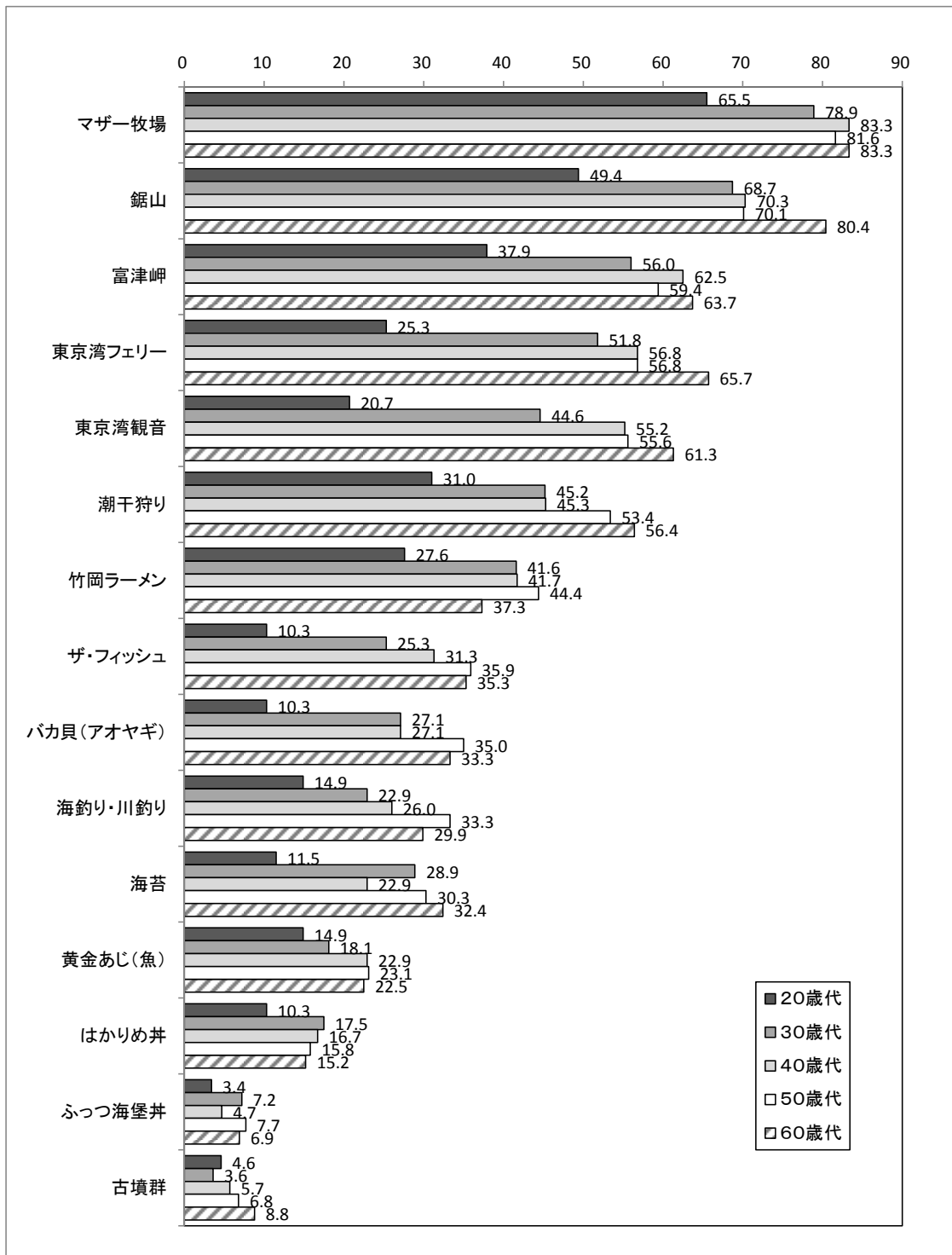
## ■属性別動向

### ①男女別



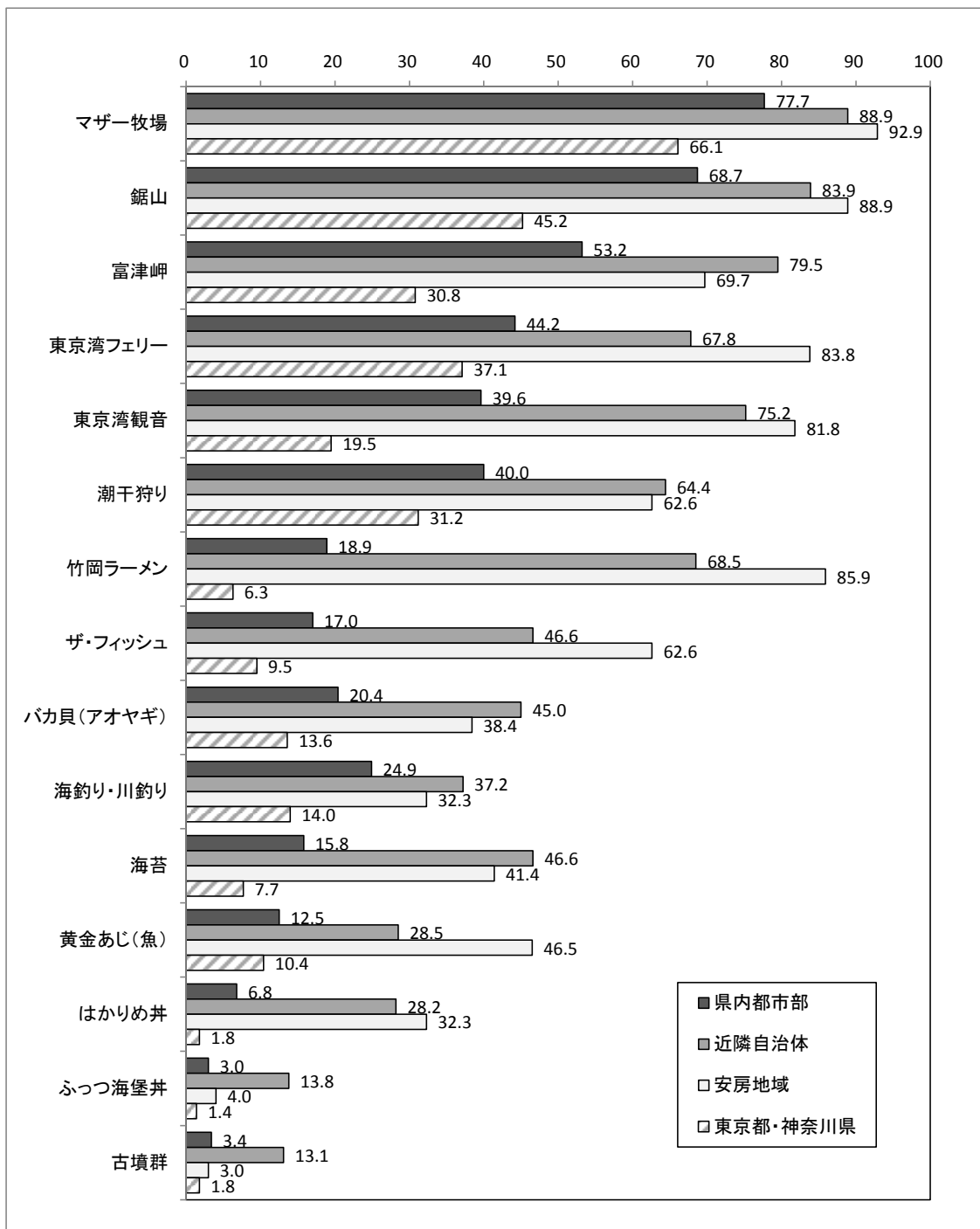
- ほとんどの項目で、女性より男性の方が認知度は高い。
- その中でも、「富津岬」(男性：64.2%、女性：51.5%、差異 12.7%)、「東京湾フェリー」(同 59.7%、49.0%、10.7%)、「東京湾観音」(同 56.0%、45.8%、10.2%)、「竹岡ラーメン」(同 46.1%、32.8%、13.3%) で両者の差が大きくなっている。
- 全体で最も知られている「マザー牧場」は、わずかながら認知度は女性の方が高くなっている。

## ②年齢階層別



- 多くの項目で 60 歳代など年齢が高い層で比率が高く、20 歳代で比率が極端に低い傾向がみられる。
- 60 歳で、特に「鋸山」「東京湾フェリー」で比率が高いことが目立っている。

③居住地別



- 安房地域で比率が高い項目が多い。「竹岡ラーメン」「ザ・フィッシュ」「黄金あじ」などで、他との差異が特に大きくなっている。
- 「古墳群」、「ふつつ海堡丼」などは、近隣自治体以外での認知度は低い。

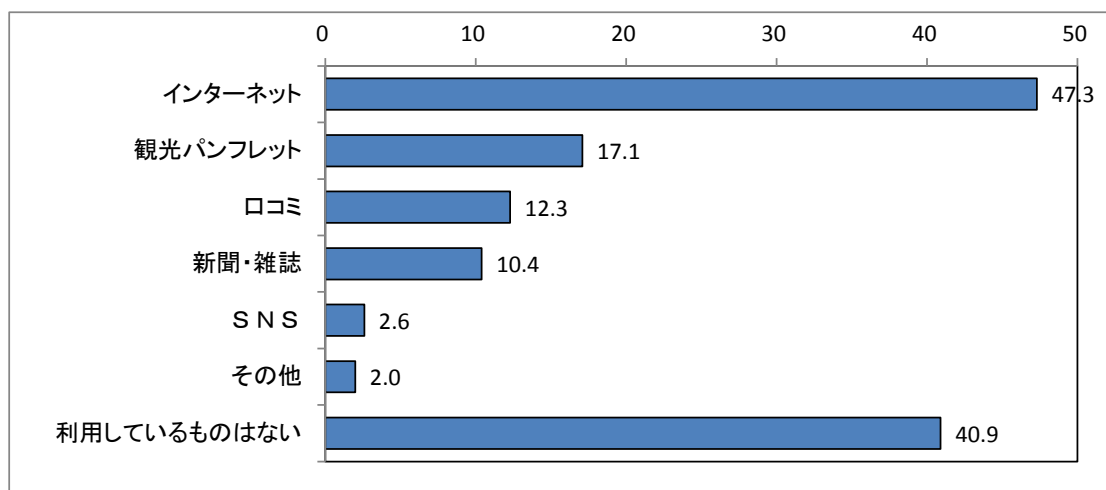
#### (4) 富津市の情報の入手方法

問 あなたは、富津市の情報を得るとき主に何を利用していますか。利用しているものをお選びください。(MA、n=883)

⇒「インターネット」を利用しているとの回答が 47.3%と突出して多く、紙ベースの媒体など、その他の選択肢を大きく引き離している。

⇒「SNS」を利用しているとの回答は、わずか 2.6%にとどまっている。

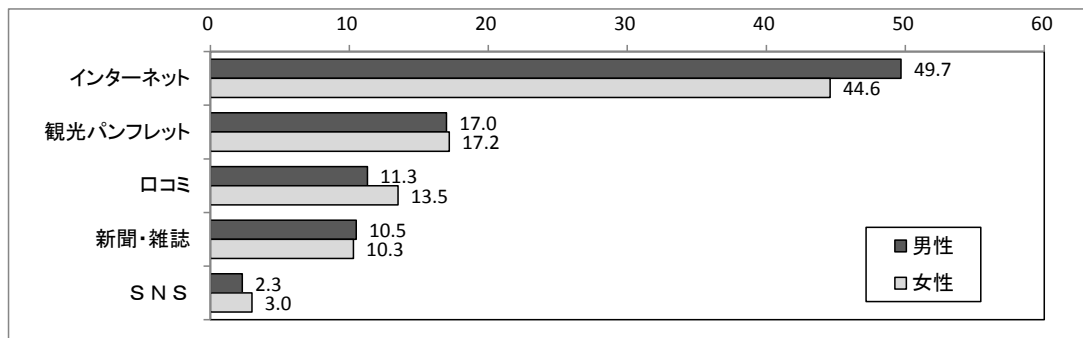
⇒「利用しているものはない」、すなわち「利用していない」比率は 4 割を超えている。



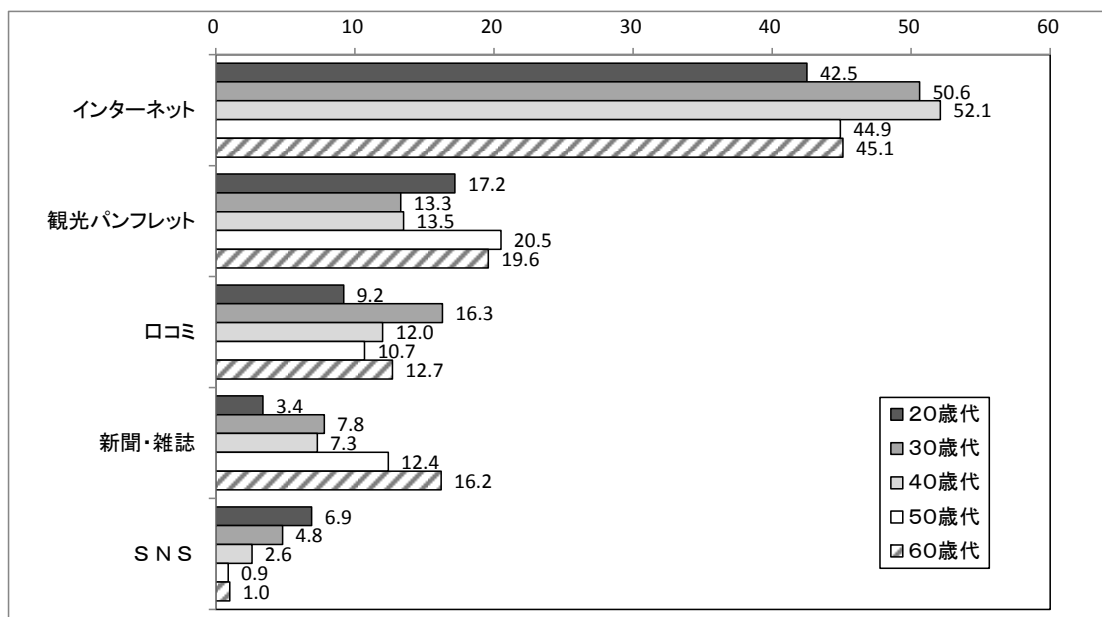
#### ■属性別動向

- 男性で「インターネット」、女性で「口コミ」の比率がやや高くなっている。
- 30歳代、40歳代で「インターネット」との回答が多く、50歳代、60歳代で「観光パンフレット」「新聞・雑誌」といった紙媒体の比率が高いことがみてとれる。
- 県内都市部、東京都・神奈川県で「インターネット」、近隣自治体で「口コミ」、安房地域で「観光パンフレット」との回答が多い。

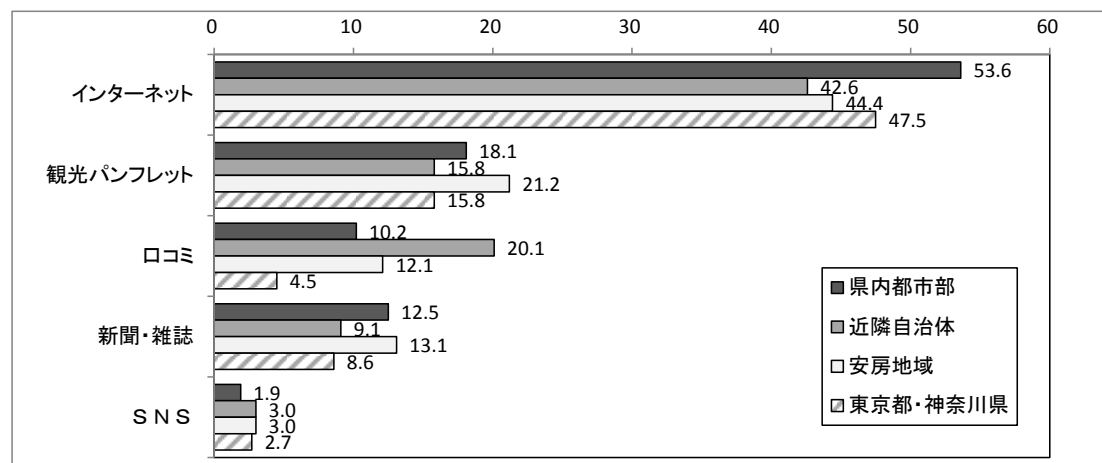
①男女別



②年齢階層別



③居住地別

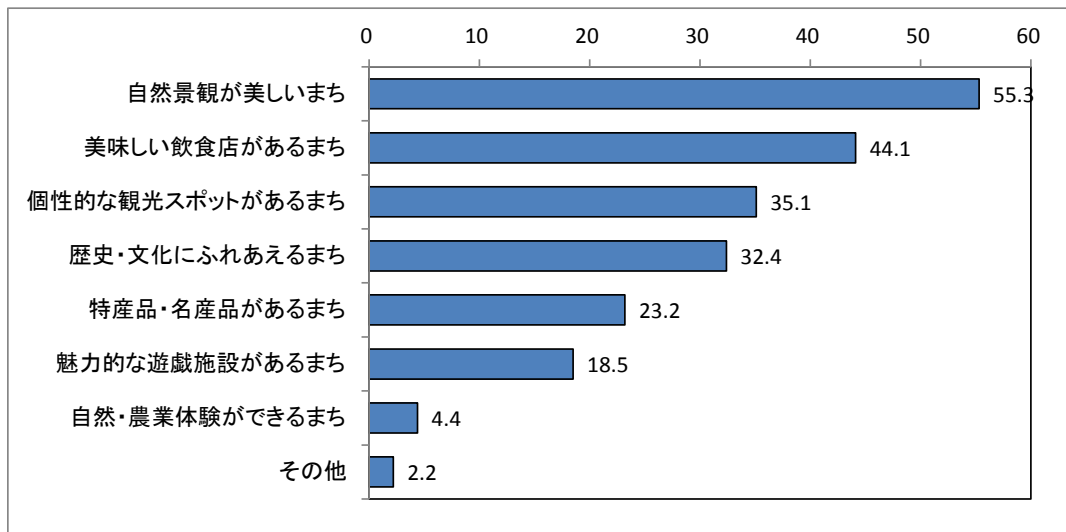


## 2. 「観光・交流」について

### (1) 観光地の選択基準

問 あなたは、観光地に行く際に、どのような基準で場所を選びますか。(MA、n=1,000)

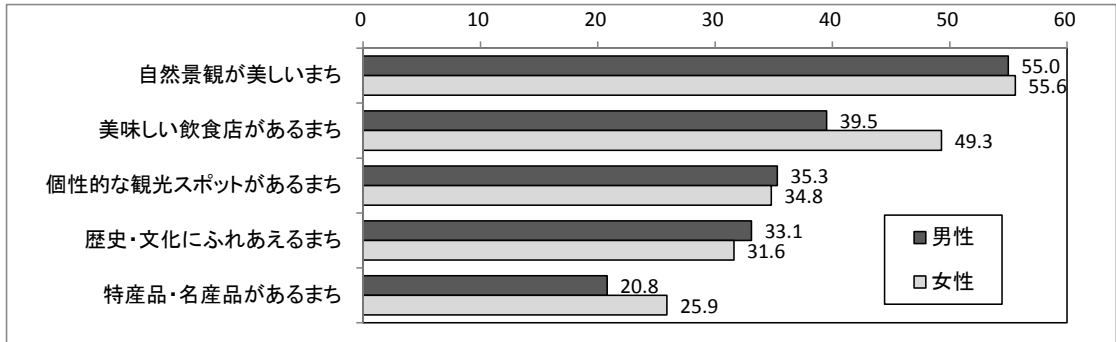
⇒「自然景観が美しいまち」(55.3%)、「美味しい飲食店があるまち」(44.1%)を観光で訪れる先として選択する、との声が多い。



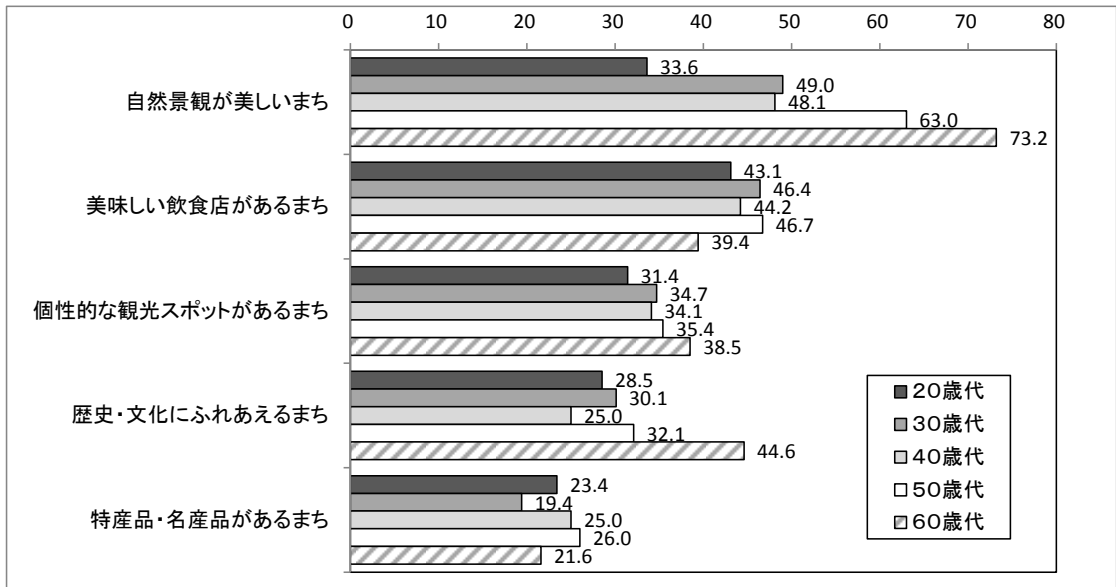
### ■属性別動向

- ・「美味しい飲食店があるまち」「特産品・名産品があるまち」との回答が、女性で多いことが目立つ。
- ・60歳代など年齢が高い層で「自然景観が美しいまち」、「歴史・文化にふれあえるまち」の比率が高い。20歳代では各項目の比率が相対的に低いが、「美味しい飲食店があるまち」「特産品・名産品があるまち」では他の年齢階層と大きな差異はない。
- ・県内都市部では「自然景観が美しいまち」、近隣自治体と都内・神奈川県では「美味しい飲食店があるまち」、安房地域では「個性的な観光スポットがあるまち」の比率が高くなっている。

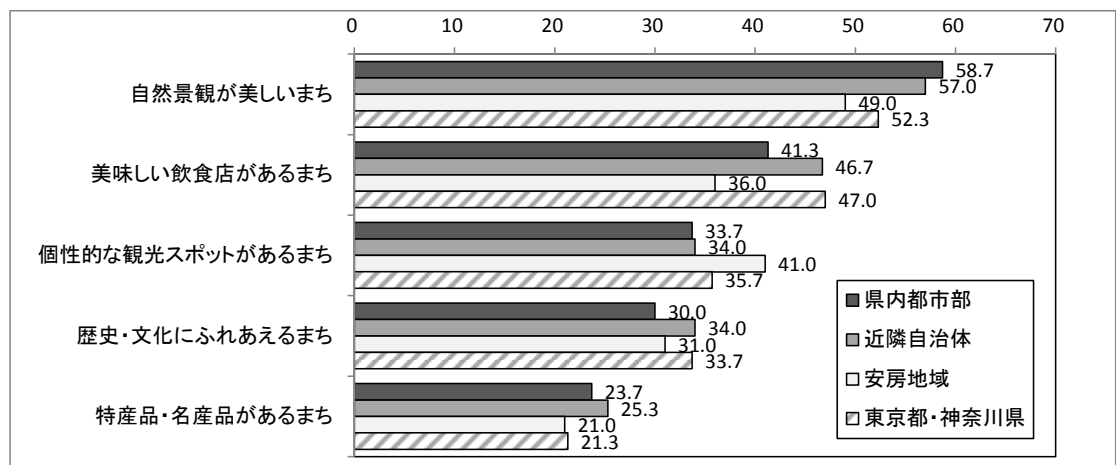
①男女別



②年齢階層別



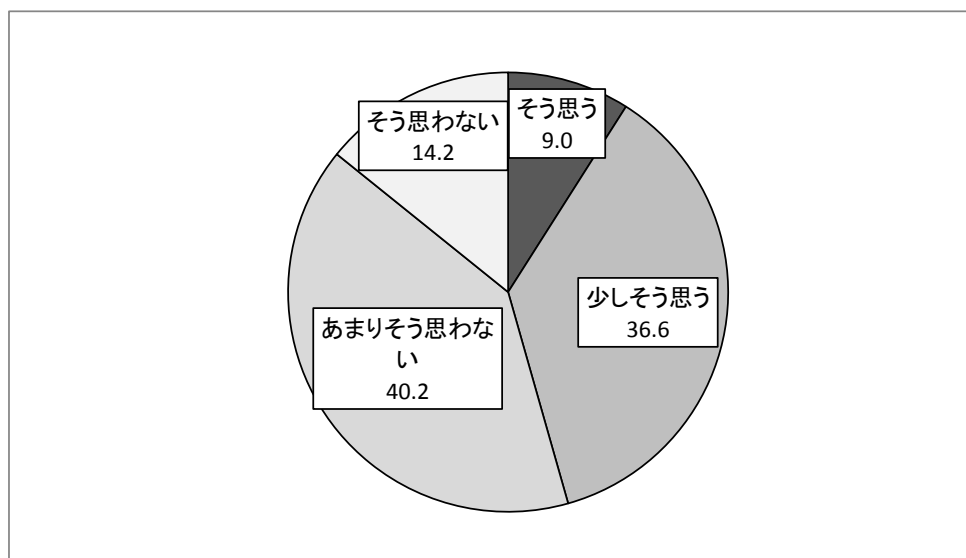
③居住地別



## (2) 富津市への観光来訪意思

問あなたは、富津市を「観光で訪れたいまち」だと思いますか。(SA、n=1,000)

⇒「そう思う」は9.0%にとどまっており、「少しそう思う」(36.6%)を含めた比率は5割弱となっている。

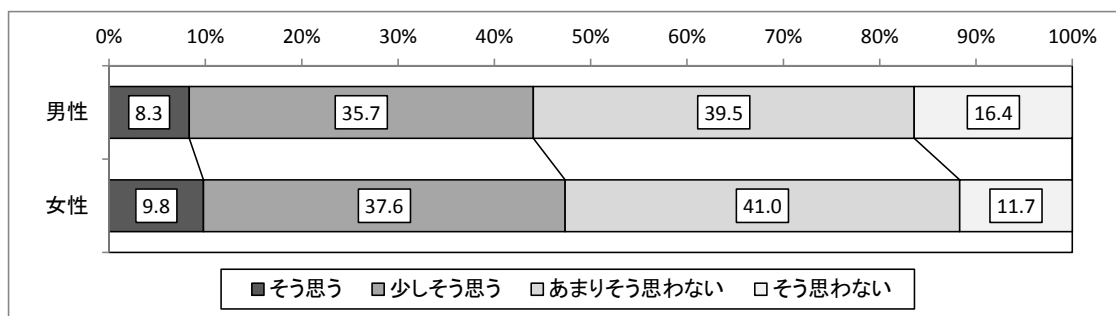


### ■属性別動向

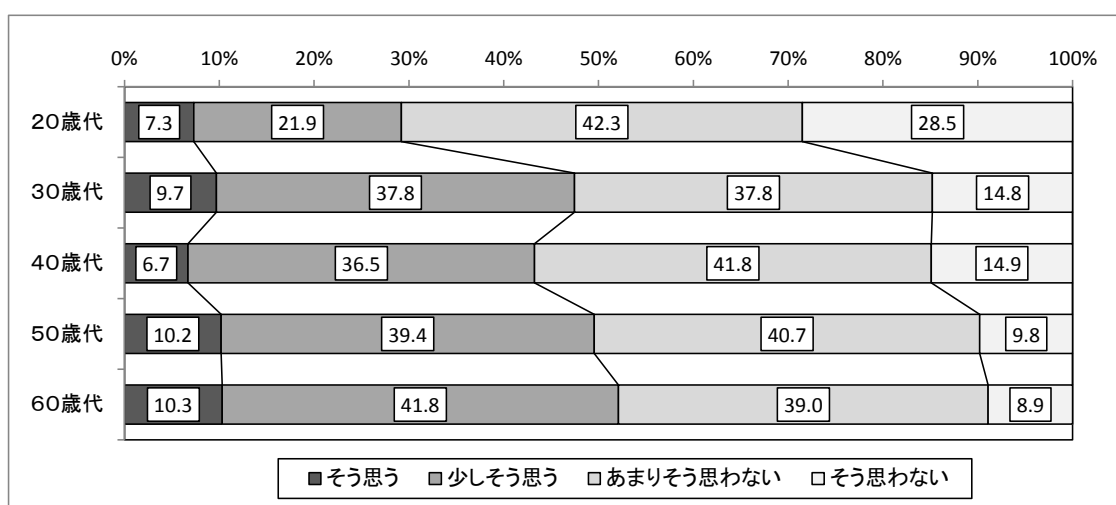
- 女性で「そう思う」「少しそう思う」という肯定的な比率がやや高くなっている。
- 「そう思う」「少しそう思う」の合計は、60歳では5割を超えるが、30～50歳代では4割台で、20歳代では29.2%にとどまっている。
- 居住地別では、「そう思う」「少しそう思う」の合計は県内都市部が49.3%で最も高く、東京都・神奈川県が41.3%で最も低くなっている



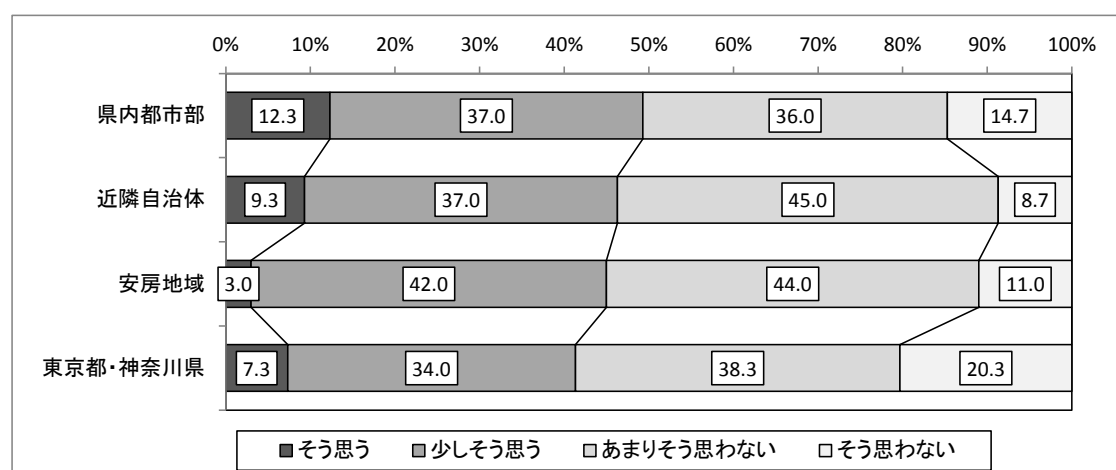
①男女別



②年齢階層別



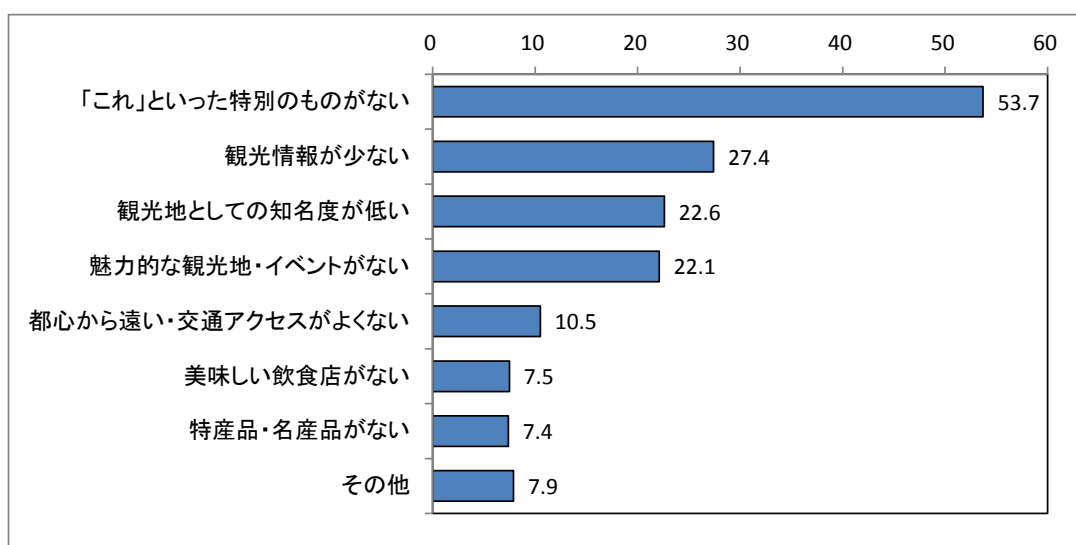
③居住地別



### (3) 富津市へ来訪したくない理由

問 そのように否定的に感じるのは何故だと思いますか。(MA、n=544)

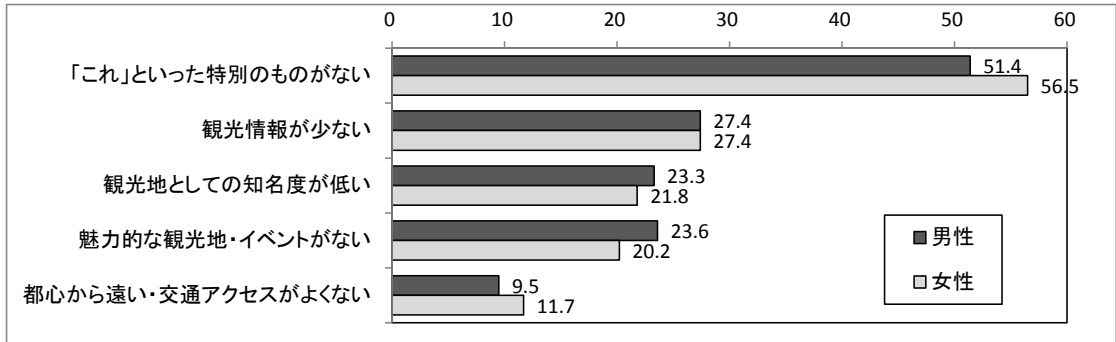
⇒観光で訪れたいと思わない理由としては、「『これ』といった特別のものが  
ない」との回答が 53.7%で突出して多くなっている。



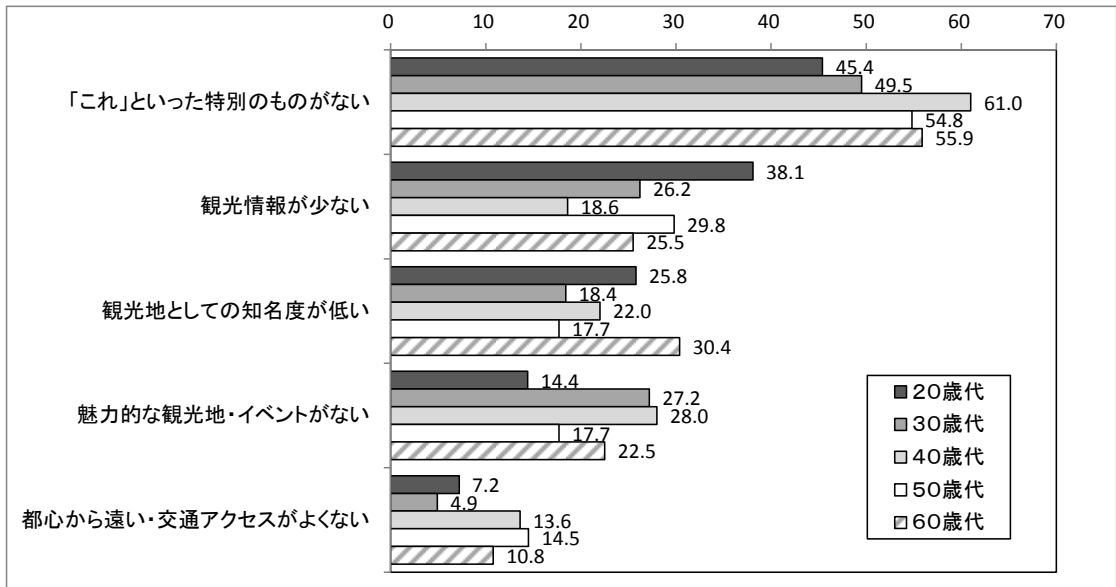
#### ■属性別動向

- 男女別では「『これ』といった特別のものが無い」は女性の方が多くなっている。
- 年齢階層別では、40 歳代で「『これ』といった特別のものが無い」の比率が高い。また、20 歳代で「観光情報が少ない」、60 歳代で「観光地としての知名度が低い」との声が多い。
- 「『これ』といった特別のものが無い」は近隣自治体で比率が高い。その他では東京都・神奈川県で「観光情報が少ない」、近隣自治体、安房地域で「魅力的な観光地・イベントが無い」との回答が多くなっている。

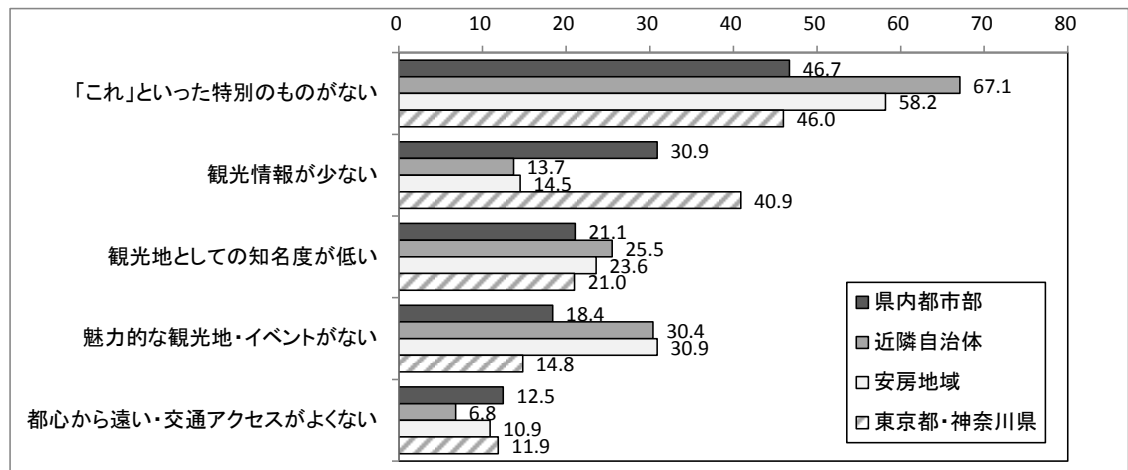
①男女別



②年齢階層別



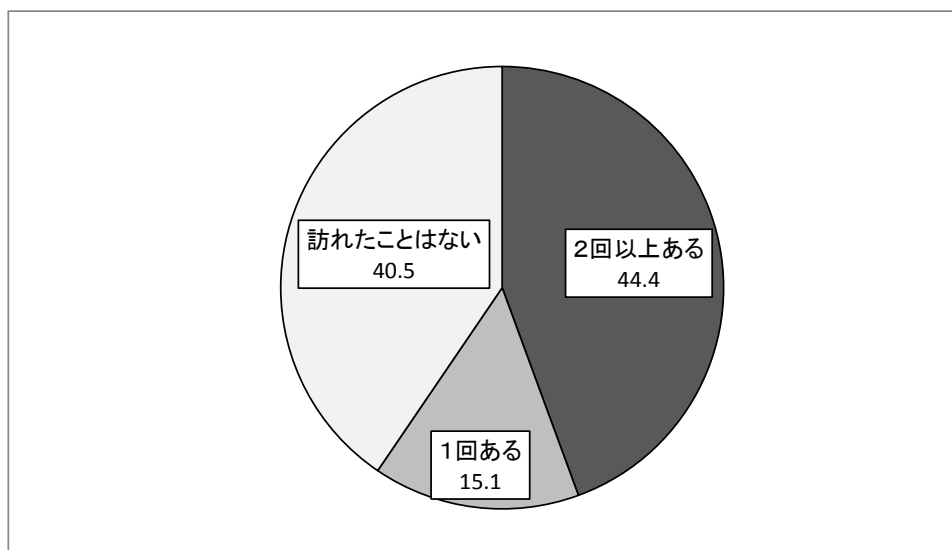
③居住地別



#### (4) 富津市への観光来訪経験

問 あなたは、観光で富津市を訪れたことがありますか。(S A、n=1,000)

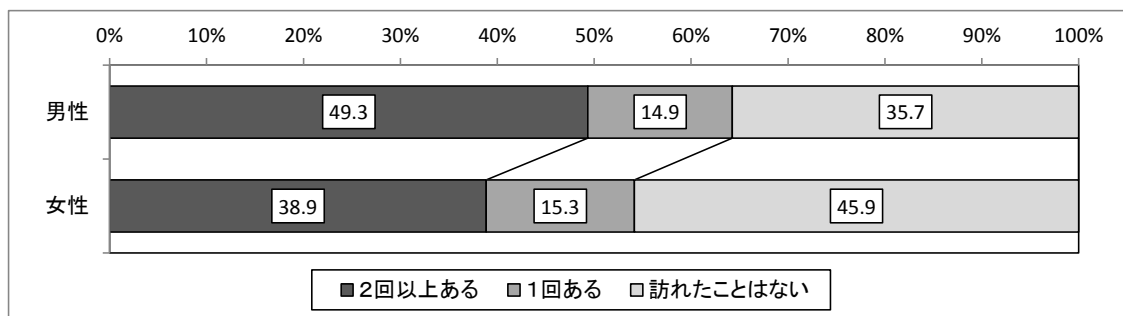
⇒「2回以上」(44.4%)、「1回」(15.1%)を合わせると、観光目的での来訪経験者は6割近くを占める。



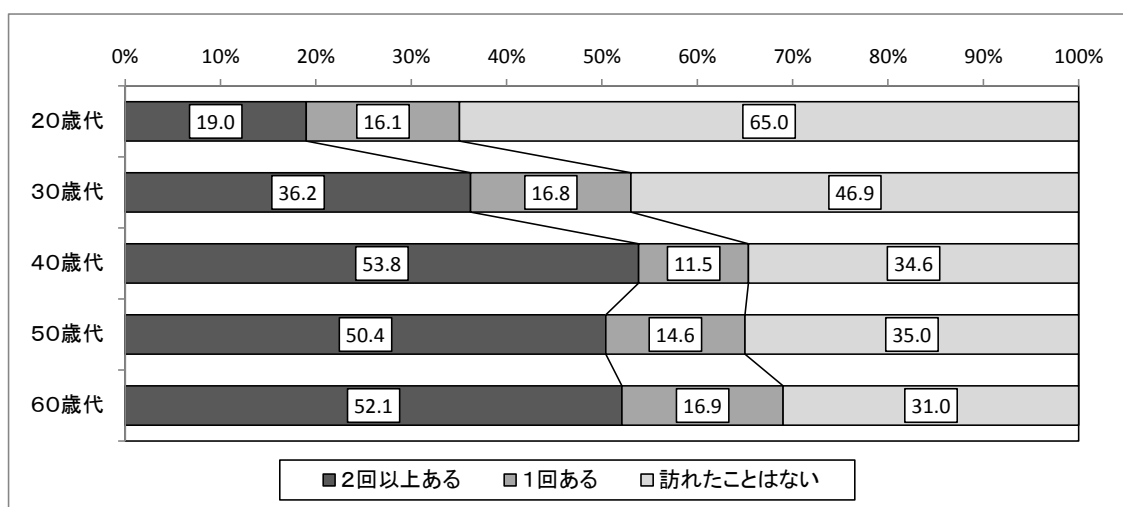
#### ■属性別動向

- 男性の方が、富津市への観光来訪経験がある比率が高く、「2回以上ある」「1回ある」の合計で64.2%となっている。
- 年齢階層別では、40歳以上で来訪経験があるとの比率は6割以上を占める。30歳代、20歳代と若くなるにつれて比率は低くなっている。
- 近隣自治体、安房地域で「観光来訪経験あり」の比率が高いが、一方でそれぞれ2割が「観光で訪れたことがない」と回答している。東京都・神奈川県では、観光で訪問したことがある比率は37.3%にとどまっている。

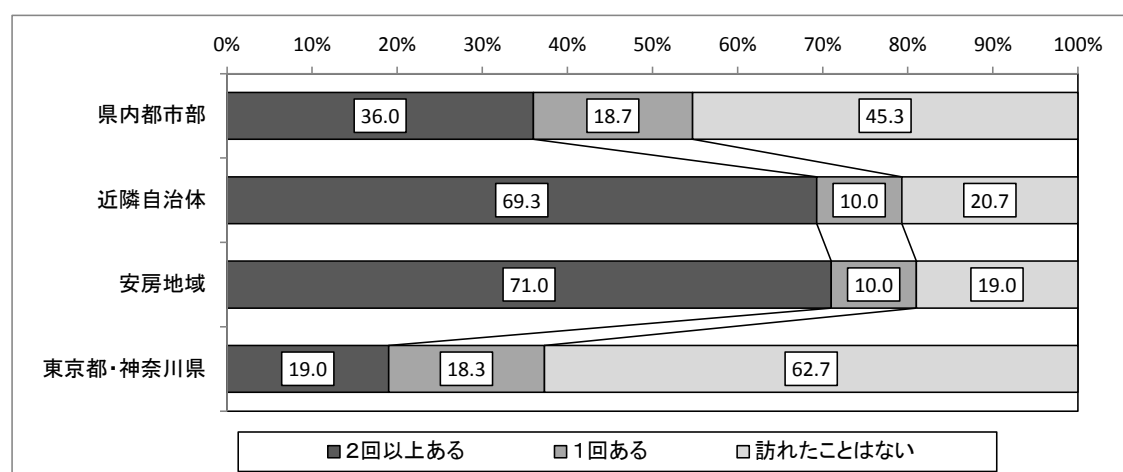
①男女別



②年齢階層別



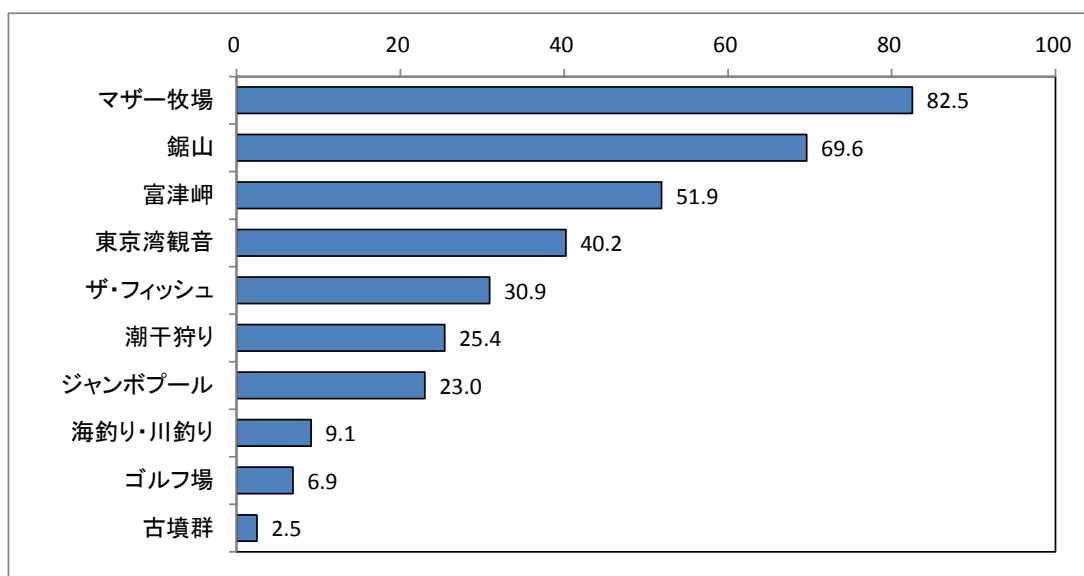
③居住地別



## (5) 観光来訪地

問 あなたが富津市で、観光で訪れたことがある場所をお選びください。(MA、n=595)

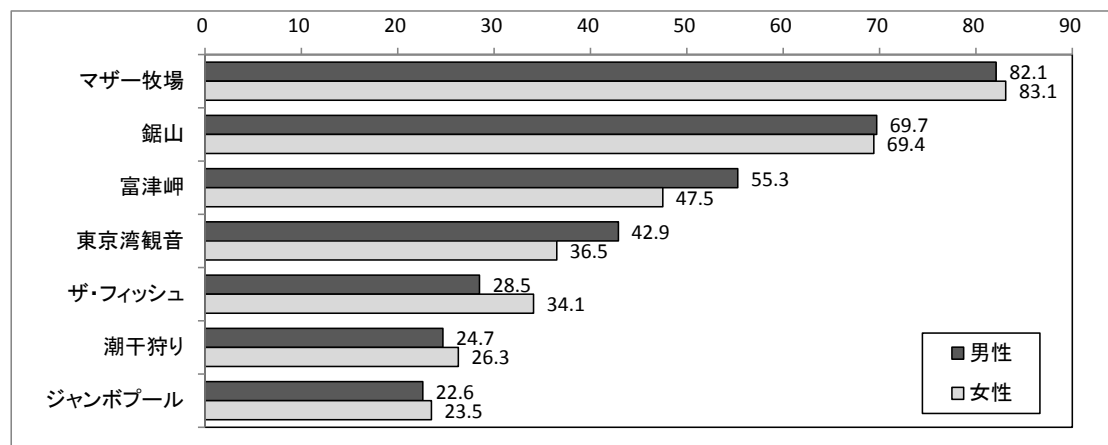
⇒「マザー牧場」「鋸山」「富津岬」の順で比率は高い。



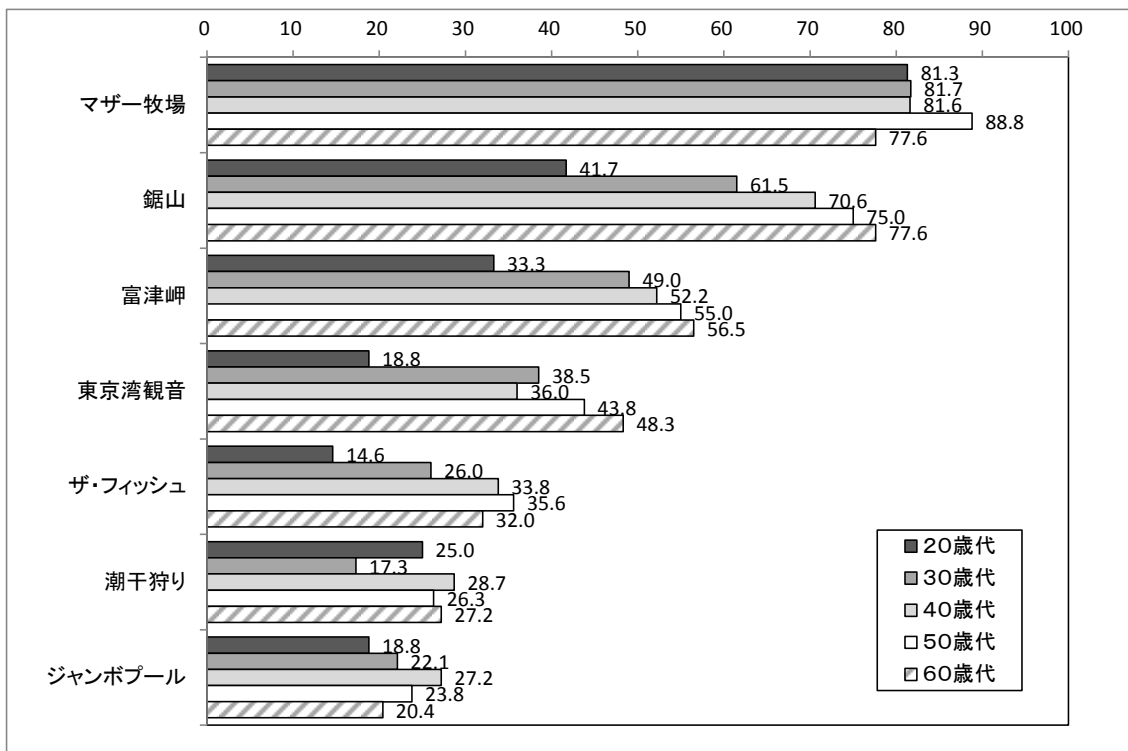
### ■ 属性別動向

- ・男性では「富津岬」「東京湾観音」、女性では「ザ・フィッシュ」の比率が高い。
- ・50歳代で「マザー牧場」との回答が多い。「鋸山」「富津岬」など、その他の主要観光地では60歳代、50歳代の比率が高いことが目立つ。
- ・各先とも近隣自治体、安房地域の比率が高い。

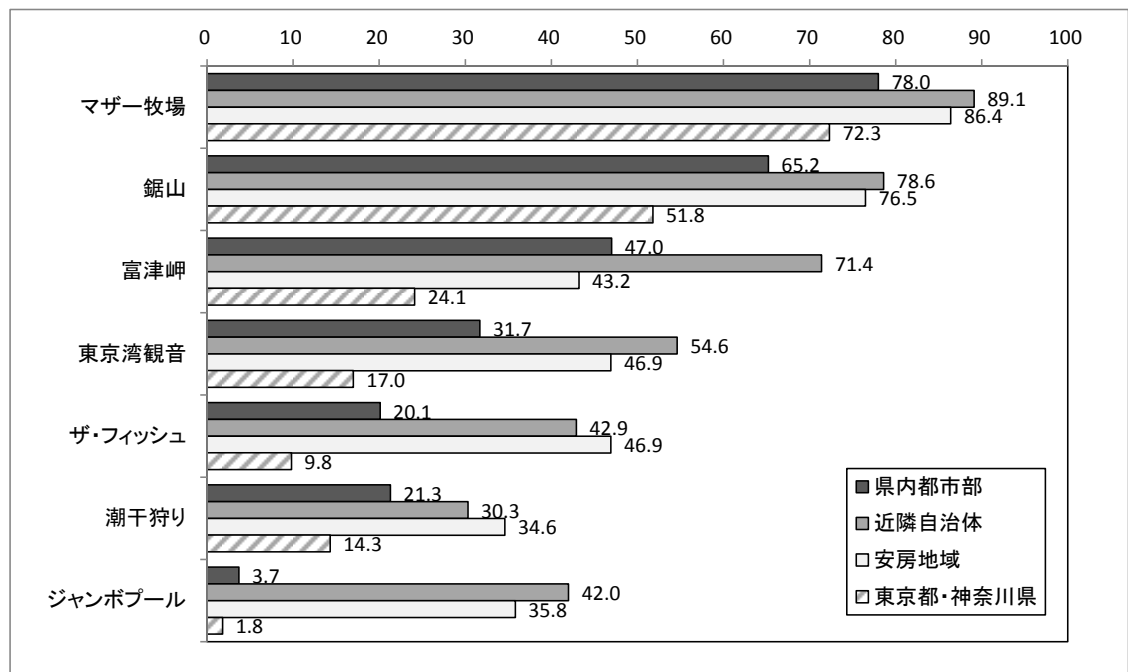
#### ① 男女別



## ②年齢階層別



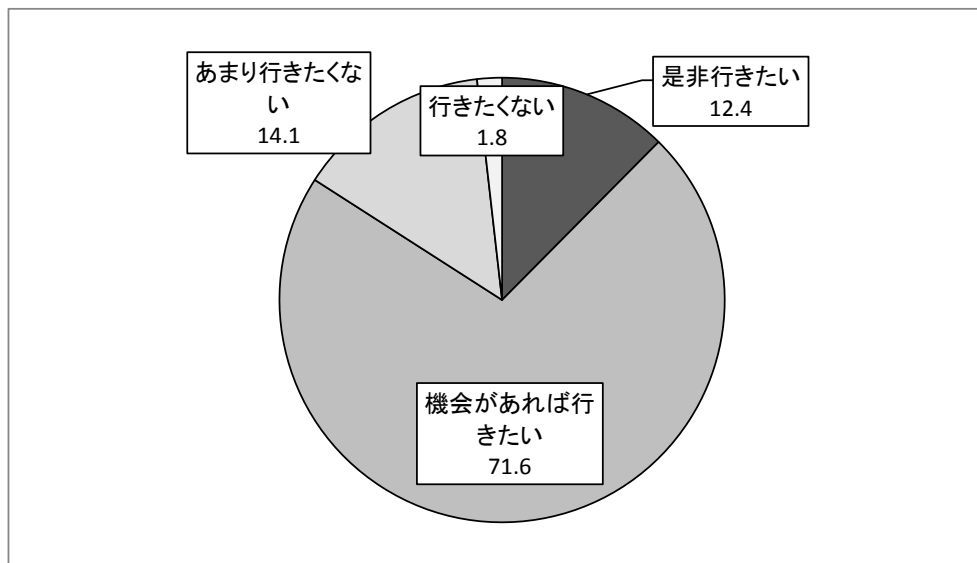
## ③居住地別



## (6) 富津市への観光再訪意思

問 あなたは、再度富津市を訪れたいと感じていますか。(S A、n=595)

⇒観光来訪経験者のうち 12.4%が「ぜひ再び行きたい」、71.6%が「機会があれば行きたい」と回答。両者の合計は 8 割を超えている。

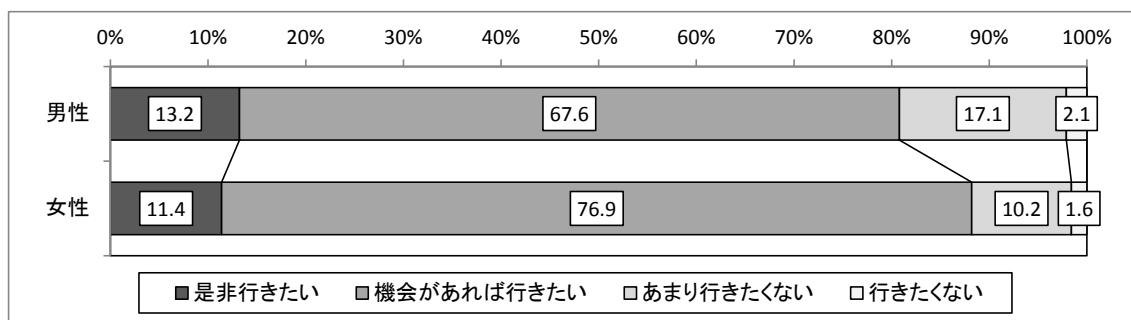


### ■ 属性別動向

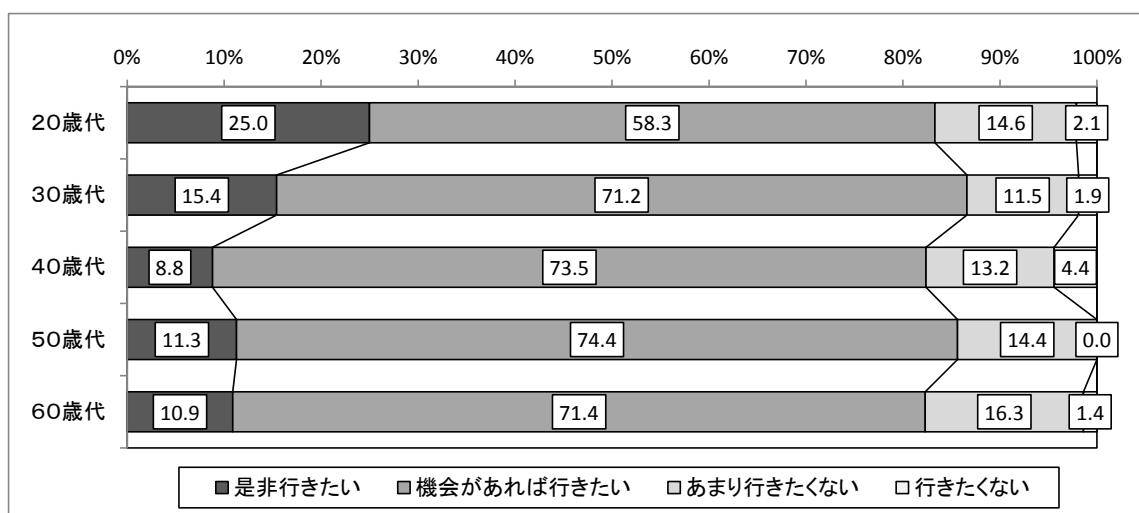
- 「行きたくない」「あまり行きたくない」と否定的な回答の比率は、女性より男性でやや高くなっている。
- 「ぜひ行きたい」との回答が 20 歳代で 25.0%と多いことが目立っている。
- 否定的な回答の比率は、安房地域でやや高くなっている。



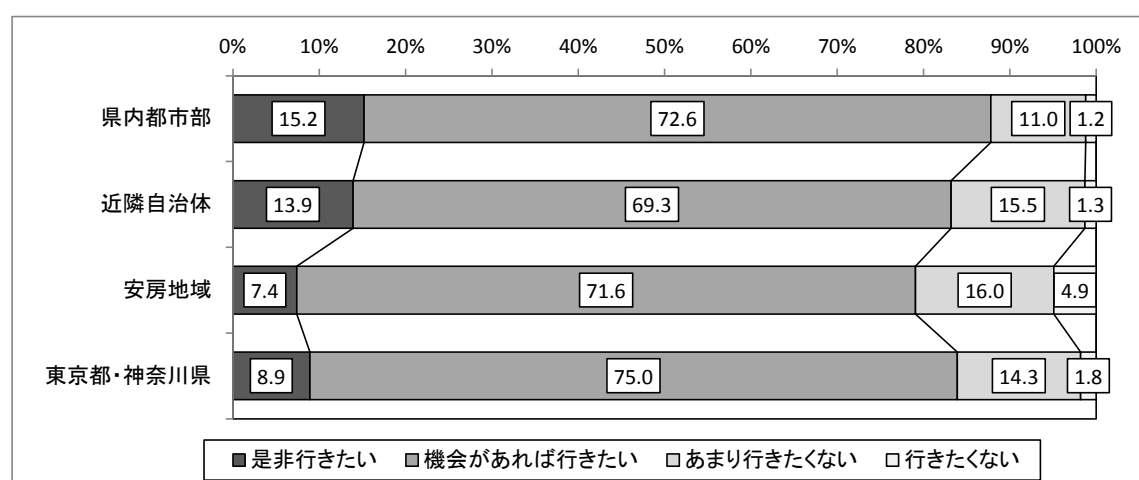
①男女別



②年齢階層別



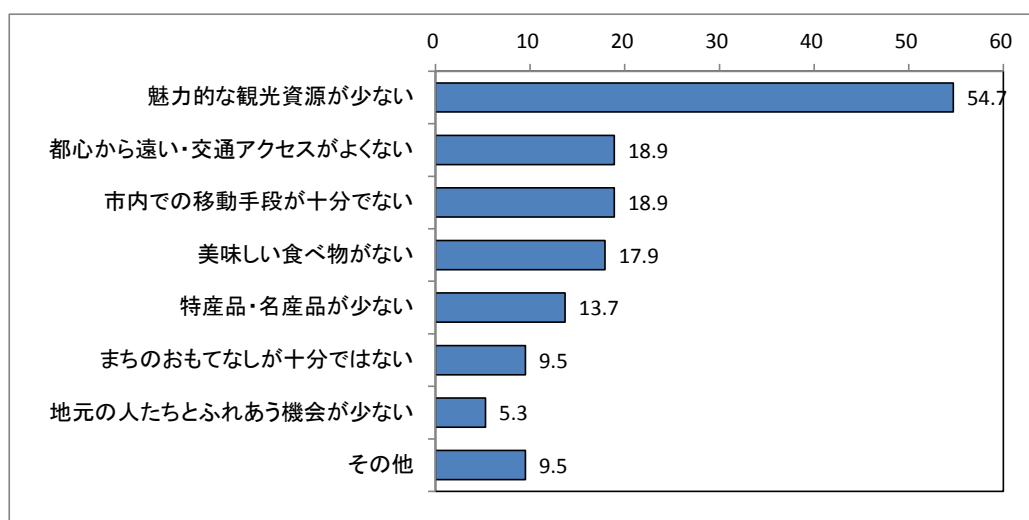
③居住地別



## (7) 富津市へ再訪したくない理由

問 再び富津市を訪れたくないと、否定的に考える理由をお答え下さい。(MA、n=95)

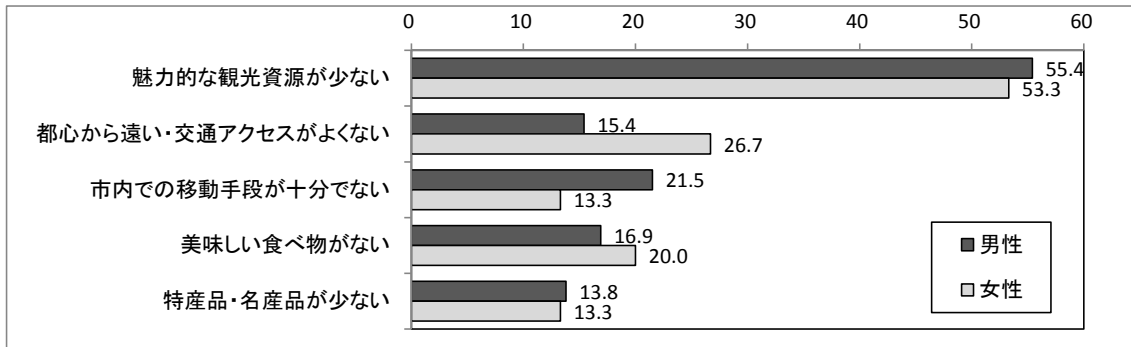
⇒「魅力的な観光資源が少ない」が54.7%と、他を大きく離して高い比率となっている。



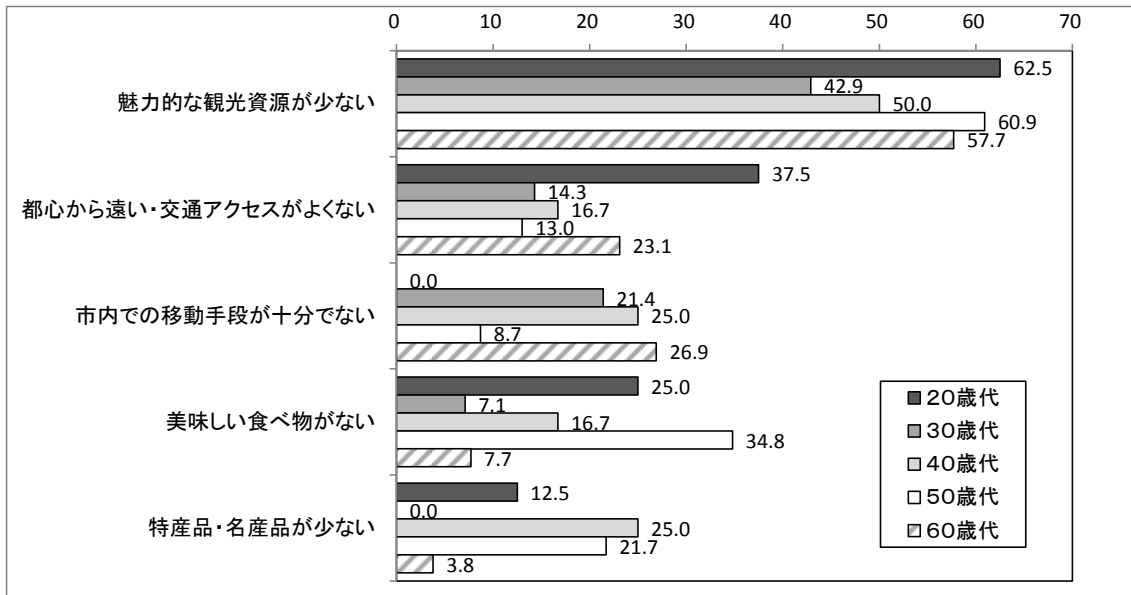
### ■ 属性別動向

- ・「都心から遠い・交通アクセスが良くない」が男性より女性で、「市内での移動手段が十分でない」が女性より男性で、それぞれ多くなっている。
- ・「魅力的な観光資源が少ない」は、20歳代と50、60歳代で比率が高い。また、「都心から遠い・交通アクセスが良くない」は20歳代で、「美味しい食べ物がない」は50歳代で回答が多いことが目立っている。
- ・東京都・神奈川県で「魅力的な観光資源が少ない」「都心から遠い・交通アクセスが良くない」の比率が高くなっている。

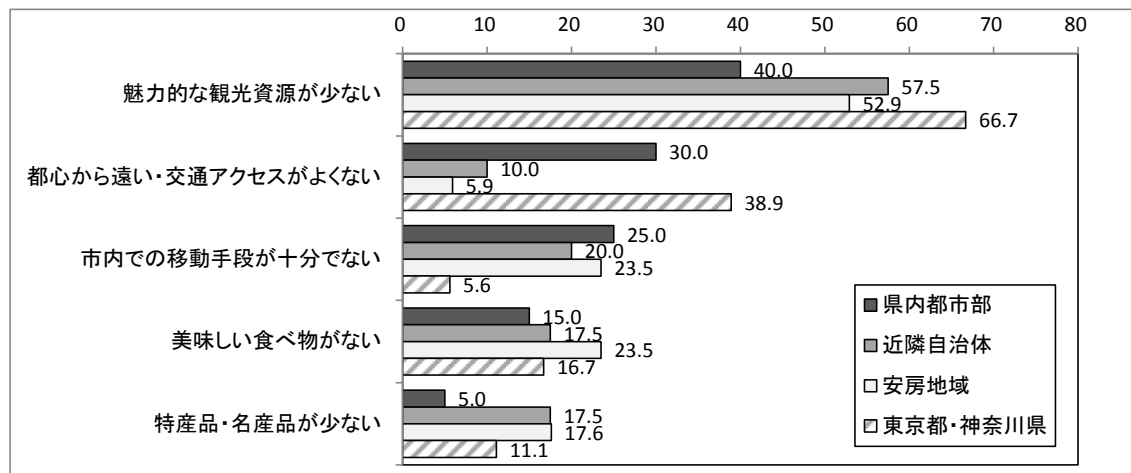
①男女別



②年齢階層別



③居住地別

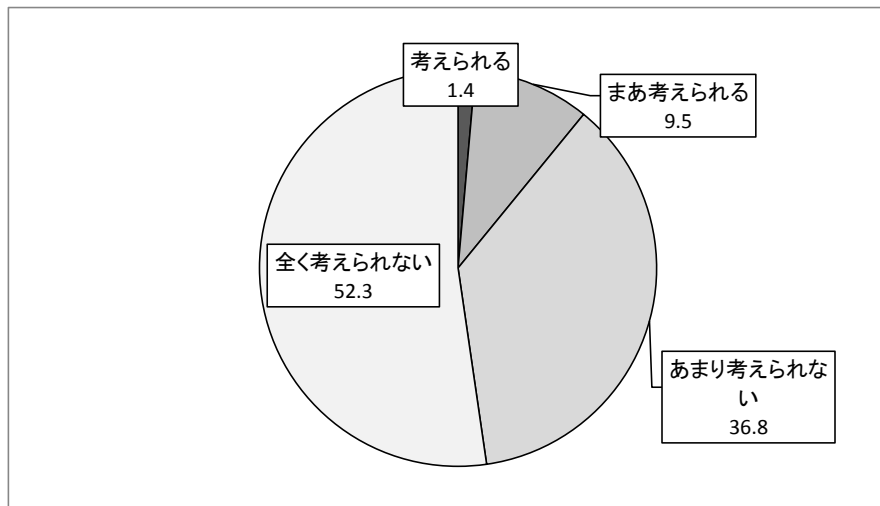


### 3. 「移住」について

#### (1) 富津市への移住意向

問 あなたは、富津市を将来の居住地の候補として考えることができますか。(S A、n=1,000)

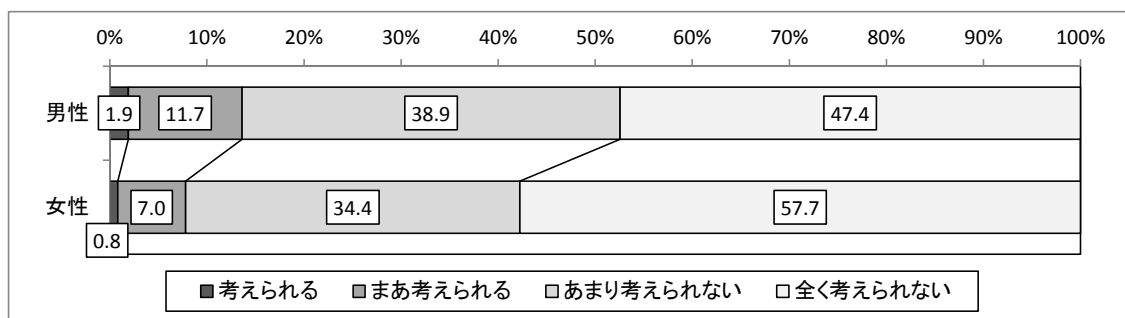
⇒富津市への移住について、「考えられる」の比率は 1.4%であった。「まあ考えられる」を含めても比率は 10.9%にとどまっている。



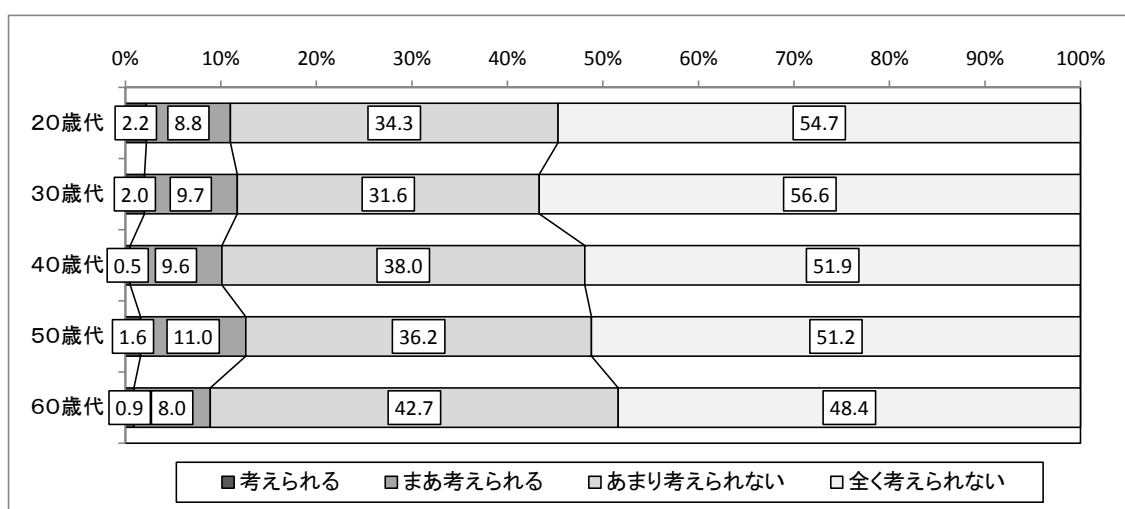
#### ■属性別動向

- 男女別では、「考えられない（「全く」と「あまり」の合計。以下同様）の比率は、女性（92.1%）の方が男性（86.3%）より高くなっている。
- 年齢階層別では、大きな差異は見られないが、60 歳以上で「考えられない」がやや多くなっている。
- 東京都・神奈川県で「考えられない」の比率が他よりも高くなっている。

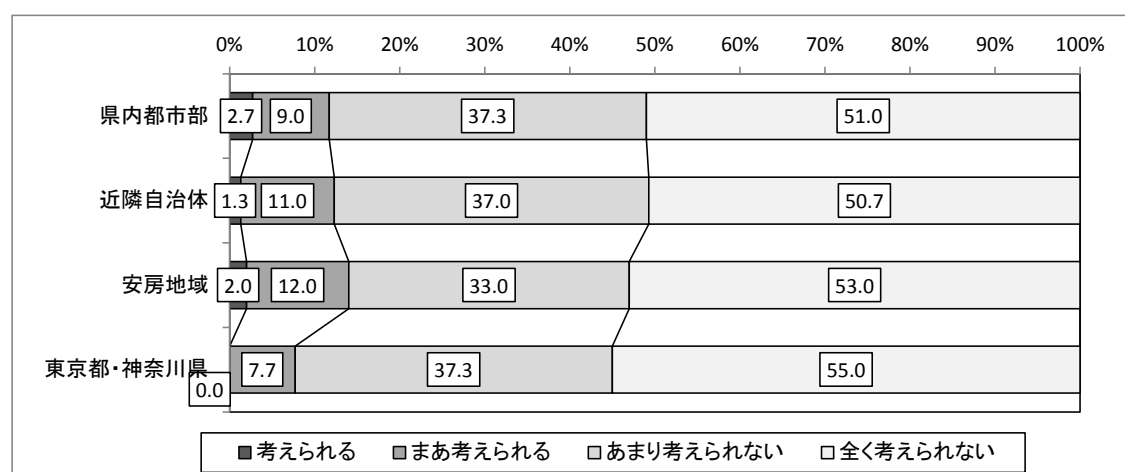
### ①男女別



### ②年齢階層別



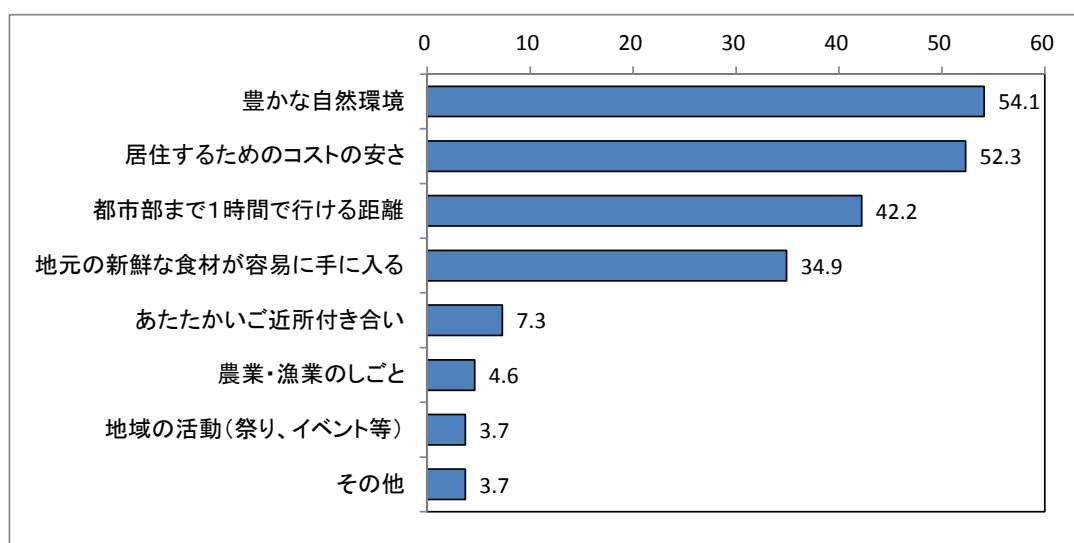
### ③居住地別



## (2) 富津市へ移住する場合の要因

問 あなたが、富津市に移住すると仮定した場合、その要因となるものはなんですか。(MA、n=109)

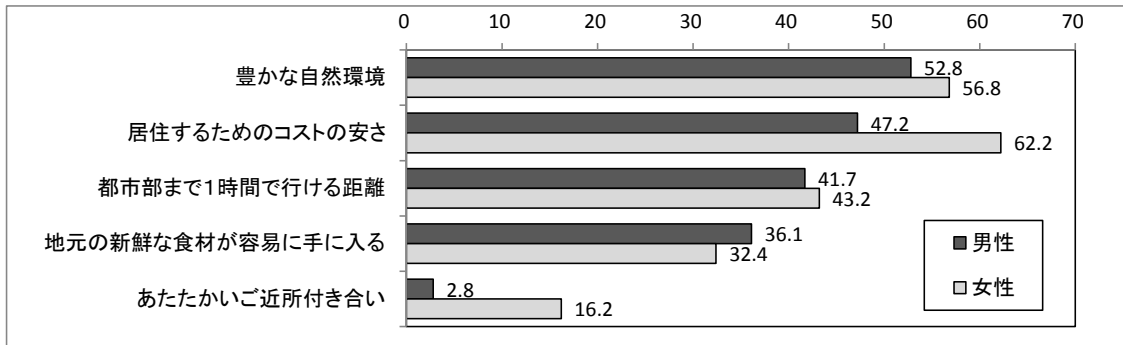
⇒「豊かな自然環境」(54.1%)、「居住するためのコストの安さ」(52.3%)を要因としてあげる向きが多い。



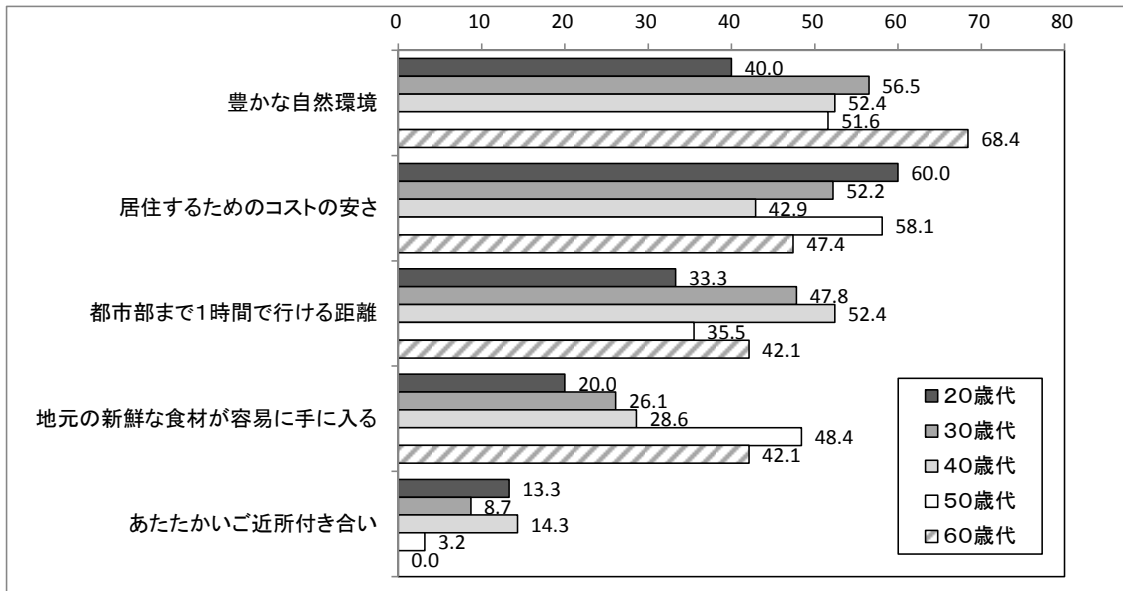
### ■属性別動向

- 女性で「居住するためのコストの安さ」を移住する要因としてあげる比率が男性より高いことが目立つ。
- 「豊かな自然環境」が60歳代で、「居住するためのコストの安さ」が20歳代と50歳代で、「都市部まで1時間で行ける距離」が40歳代で、「地元の新鮮な食材が容易に手に入る」が50歳代で、それぞれ比率が高くなっている。
- 「居住するためのコストの安さ」は特に近隣自治体で比率が高い。また「都市部まで1時間で行ける距離」は、安房地域で比率が高くなっている。

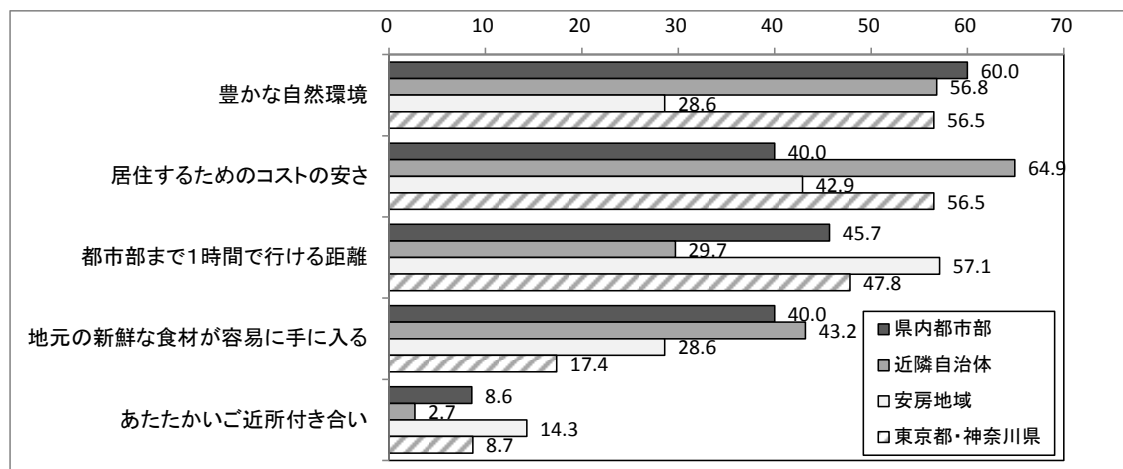
①男女別



②年齢階層別



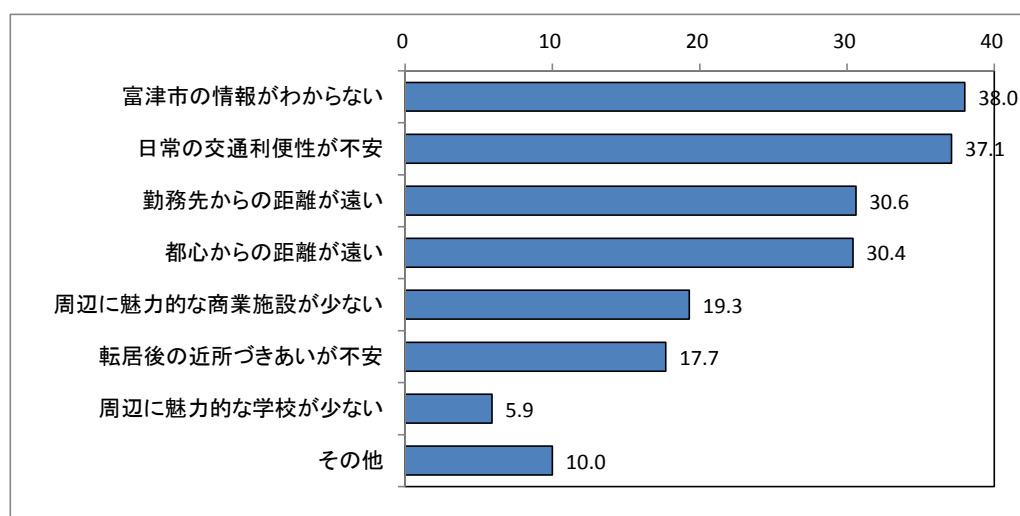
③居住地別



### (3) 富津市へ移住したくない理由

問 移住したくないと否定的に感じるのは何故だと思いますか。(MA、n=891)

⇒「富津市の情報がわからない」が38.0%、「日常の交通利便性が不安」が37.2%で高い比率となっている。「通勤先からの距離」「都心からの距離」を理由としてあげる向きも多い。

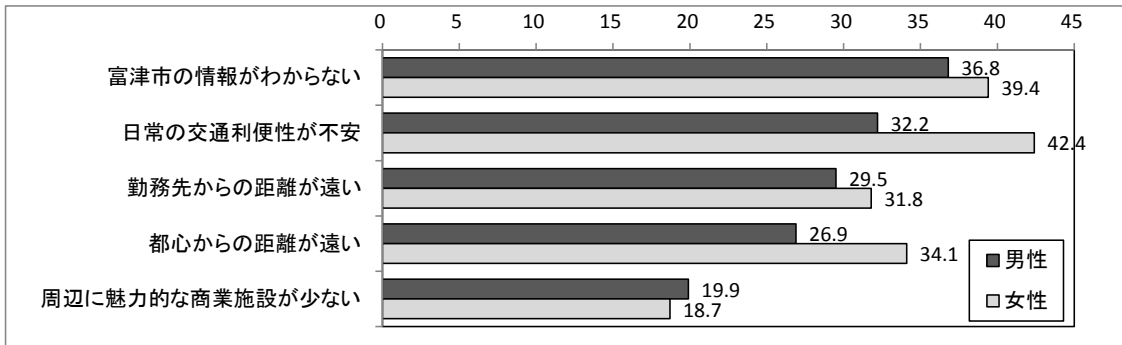


#### ■属性別動向

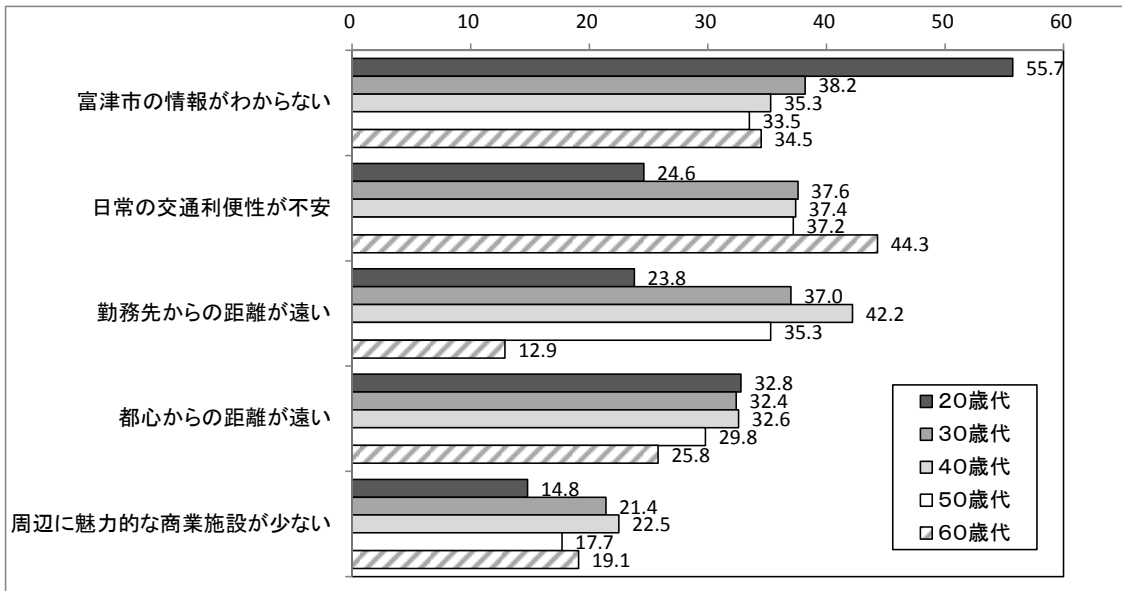
- ほとんどの項目で女性の方が男性より比率が高いが、中でも「日常の交通利便性が不安」「都心からの距離が遠い」でその差が大きくなっている。
- 「富津市の情報がわからない」は、20歳代で他の年齢階層と比較して比率が突出して多くなっている。また、「日常の交通利便性が不安」が60歳代で、「勤務先からの距離が遠い」が40歳代で比率が高くなっている。
- 東京都・神奈川県で「富津市の情報がわからない」との声が大きいことが目立つ。その他では、近隣自治体で「日常の交通利便性が不安」、県内都市部で「都心からの距離が遠い」をあげる向きが多い。



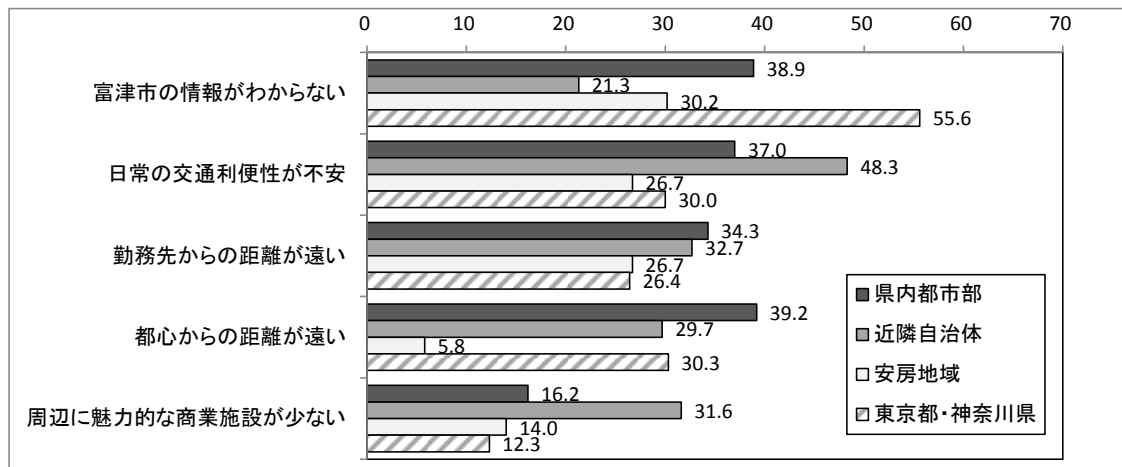
①男女別



②年齢階層別



③居住地別

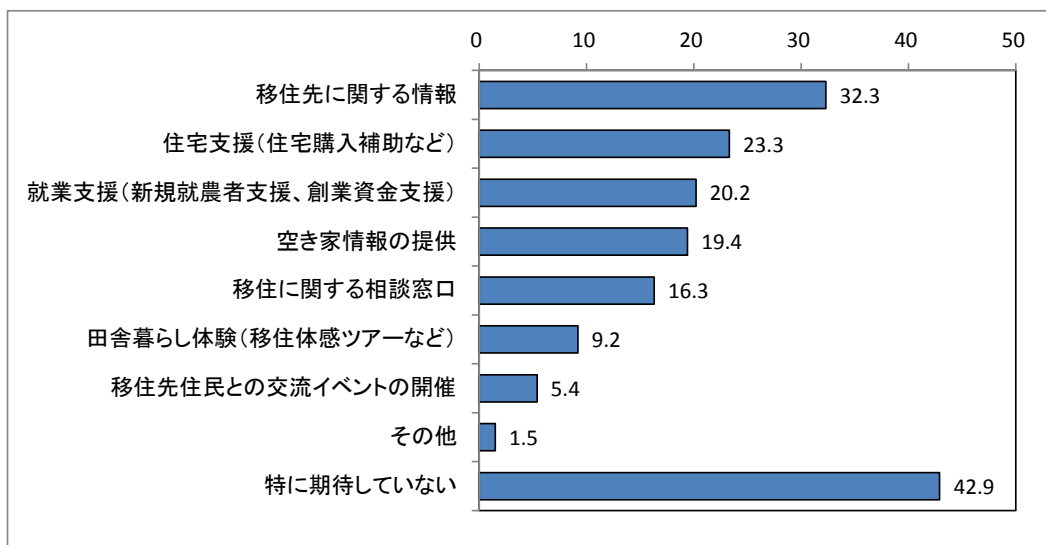


#### (4) 地方移住で求める支援策

問 地方移住に関して、あなたが求めるものは何ですか。(MA、n=1,000)

⇒「移住先に関する情報」(32.3%)、「住宅支援」(23.3%)、「就業支援」(20.2%)などを求める声が多い。

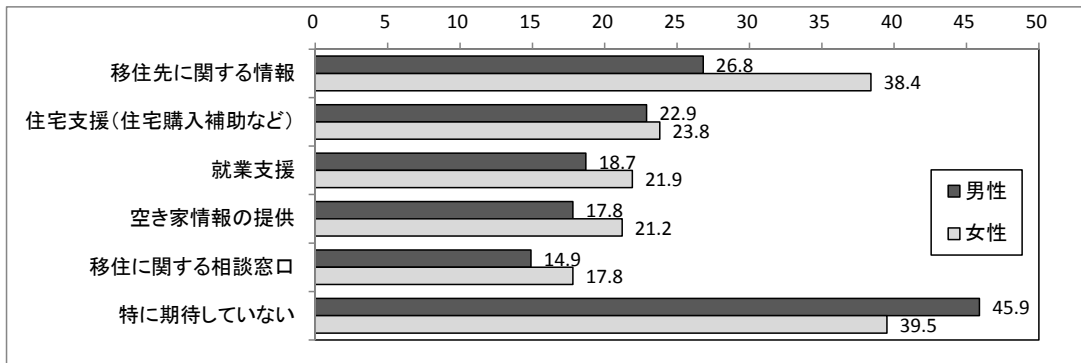
⇒その一方で「特に期待していない」の比率も42.9%に上っている。



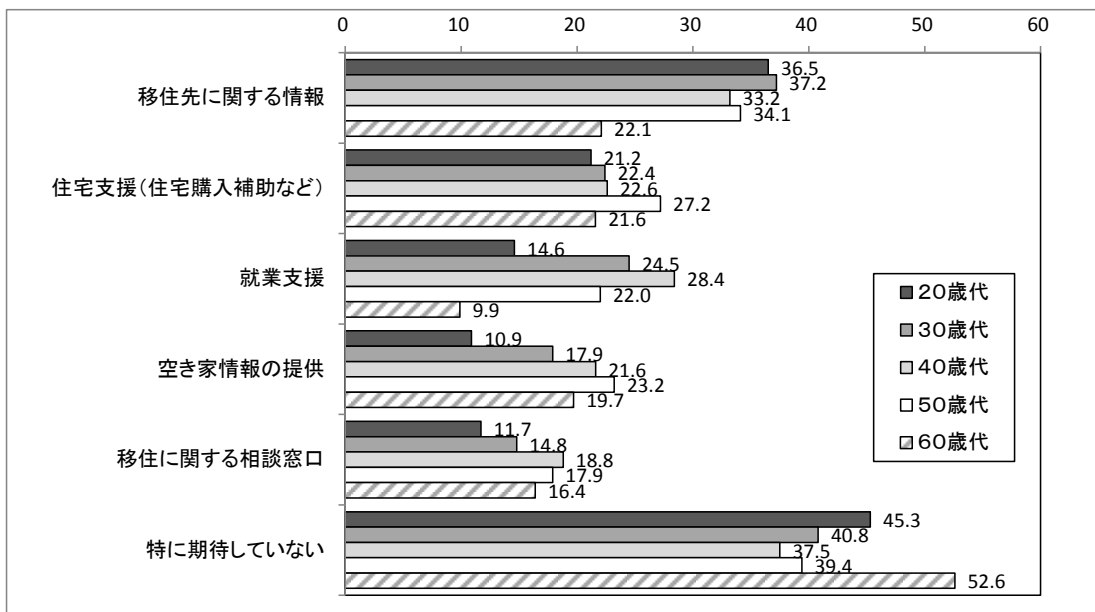
#### ■属性別動向

- 「移住先に関する情報」は女性の比率が男性のそれを大きく上回っている。その他の個別項目でも女性の比率の方が高い。男性では「特に期待していない」が女性より多くなっている。
- 50歳代で「住宅支援」「空き家情報の提供」、40歳代で「就業支援」の比率が高くなっている。「特に期待していない」は60歳代で多い。
- 東京都・神奈川県で「移住先に関する情報」、近隣自治体で「就業支援」が多いことが目立つ。「特に期待していない」は安房地域で多い。

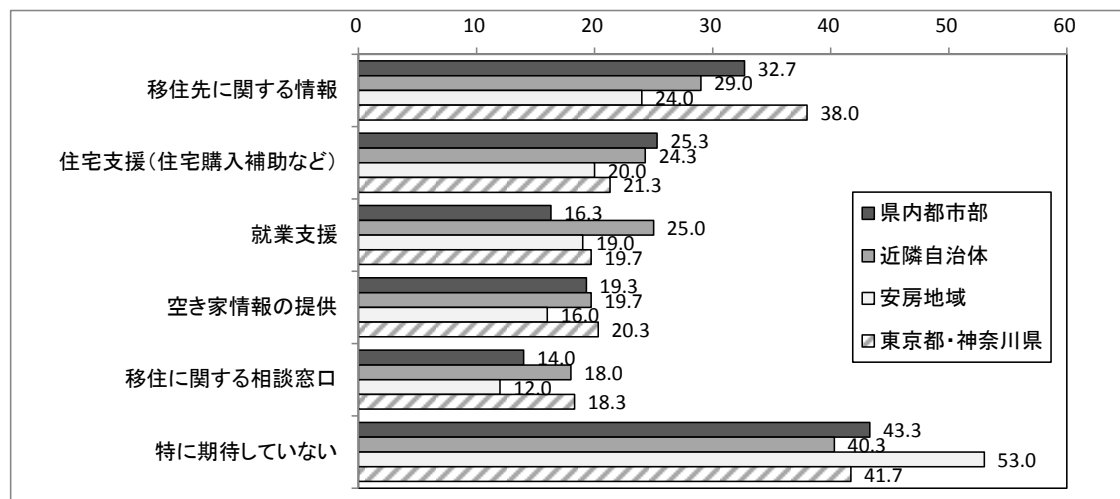
①男女別



②年齢階層別



③居住地別



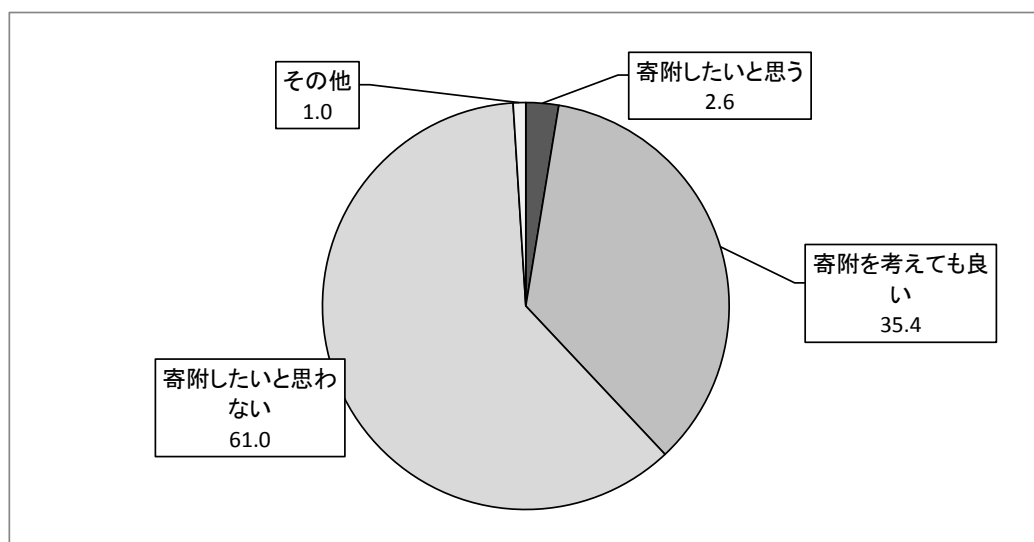
## 4. その他

### (1) ふるさと納税への意思

○「富津市のふるさと納税」のホームページを見てもらったうえでの回答

問 あなたは、富津市の「ふるさと納税」制度について、どう思いましたか。(S A、n=1,000)

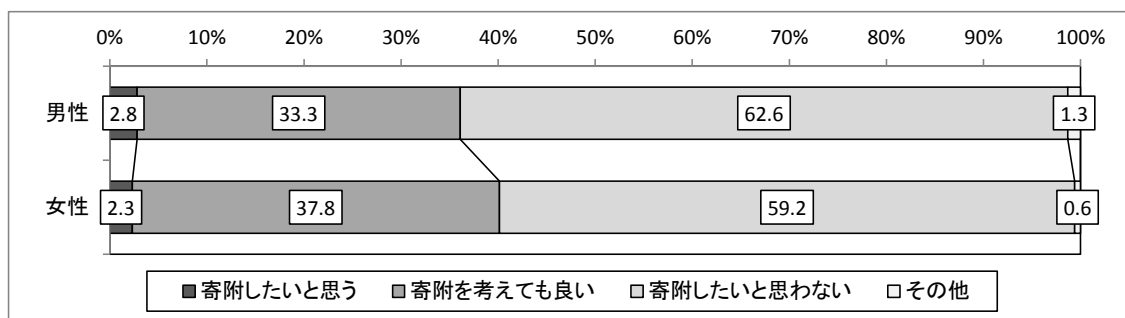
⇒「寄附したい」が2.6%、「寄附を考えても良い」が35.4%で、両者を合わせると4割近くに達する。



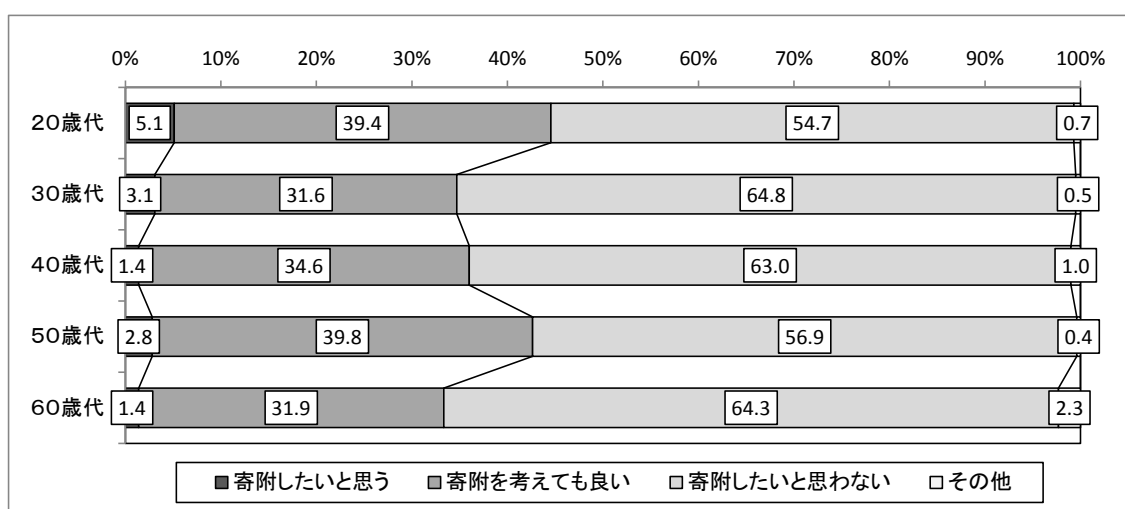
#### ■属性別動向

- 男女別では、「寄附したい」「寄附を考えても良い」の合計の比率は、女性の方がやや高くなっている。
- 年齢階層別では、20歳代で「寄附したい」「考えても良い」の合計比率が最も高く、50歳代がこれに続いている。
- 居住地別では、「寄附したい」「考えても良い」の合計比率は県内都市部、東京都・神奈川県で高く、安房地域で低い傾向がみられる。

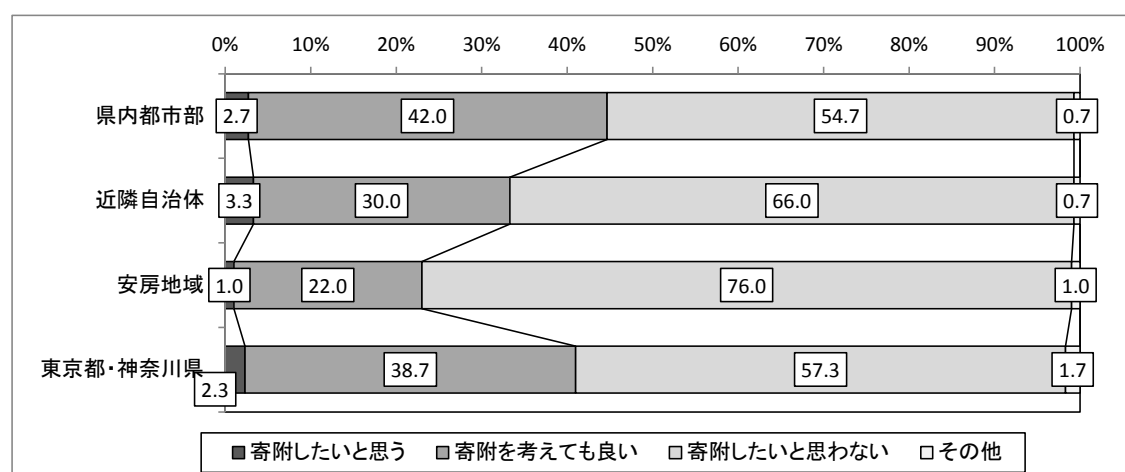
①男女別



②年齢階層別



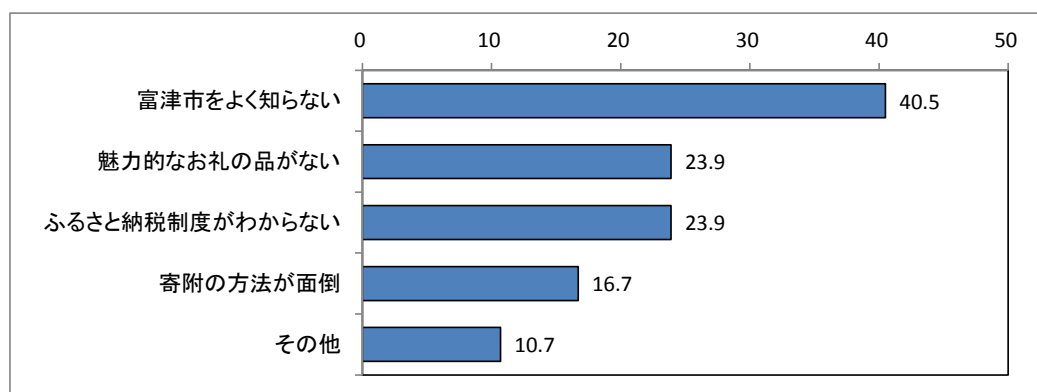
③居住地別



## (2) ふるさと納税をしたくない理由

問 寄附したいと思わなかった理由は何ですか。(MA、n=610)

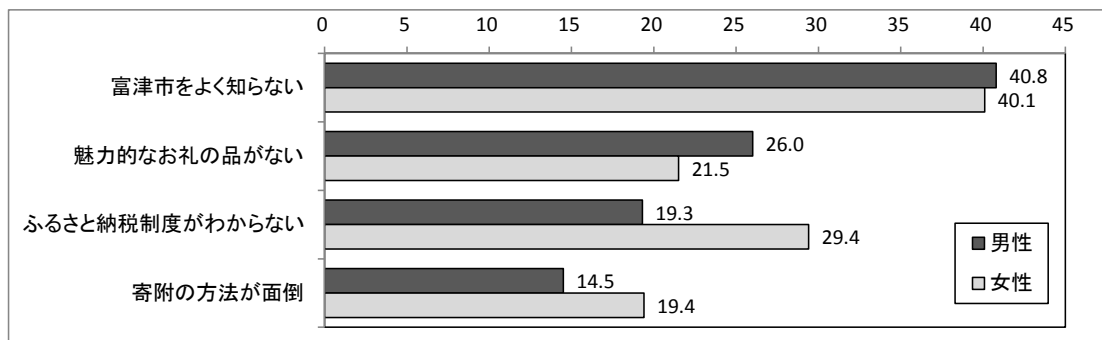
⇒40.5%が「富津市をよく知らない」を理由としてあげた。「魅力的なお礼の品がない」「ふるさと納税制度がわからない」(ともに 23.9%)との回答も多い。



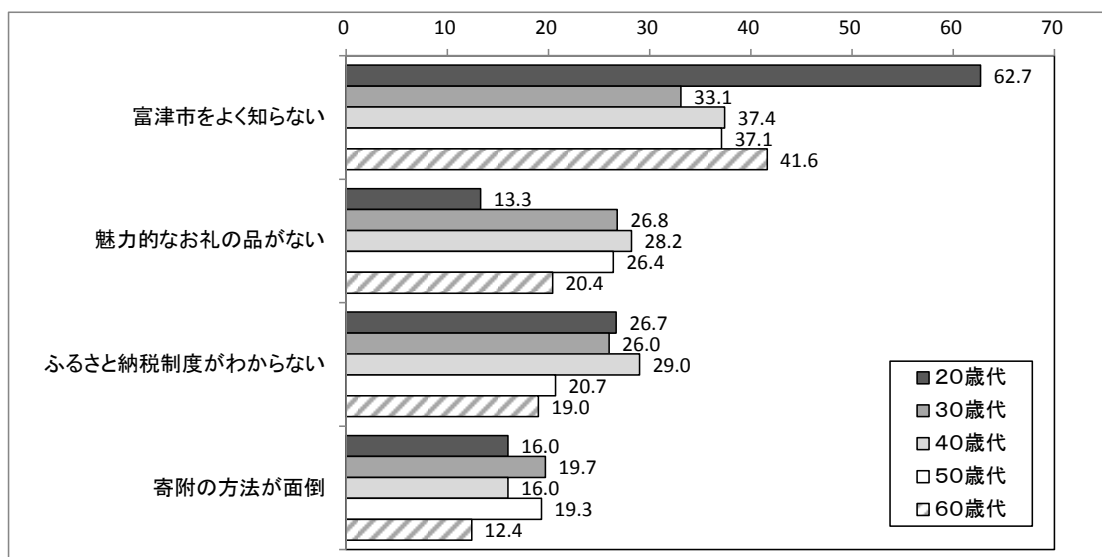
### ■属性別動向

- 男女別で見ると、女性で「ふるさと納税制度がわからない」の比率が男性を大きく上回っている。男性では「魅力的なお礼の品がない」との回答が女性より多くなっている。
- 20歳代で62.7%が「富津市をよく知らない」を理由としてあげており、他の年齢階層を大きく上回っている。
- 東京都・神奈川県、県内都市部で「富津市をよく知らない」の比率が高い。

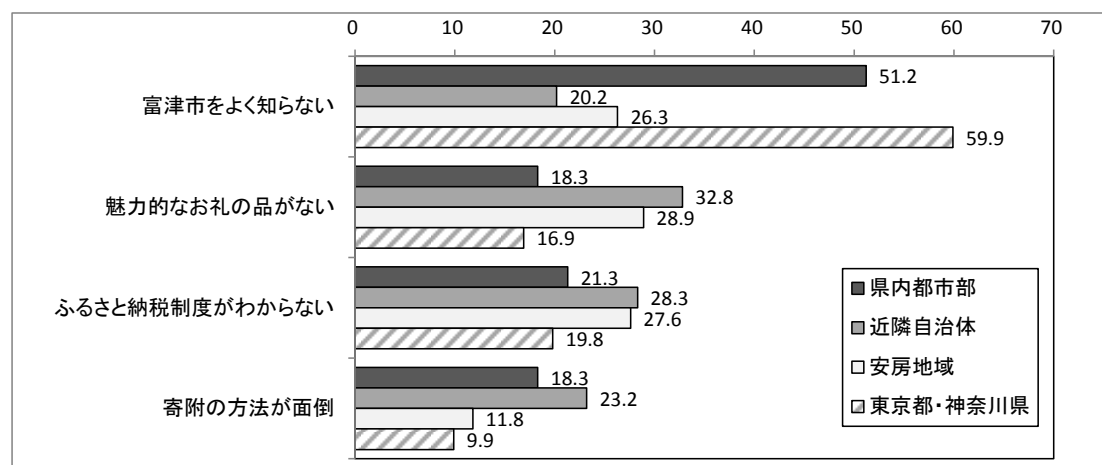
①男女別



②年齢階層別



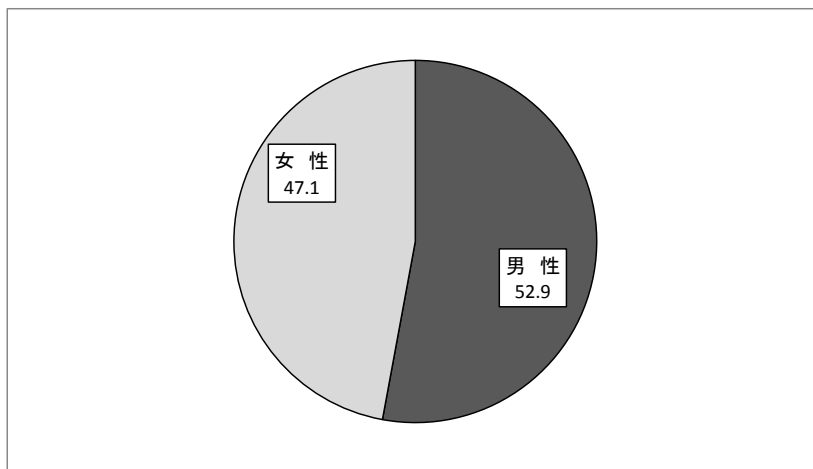
③居住地別



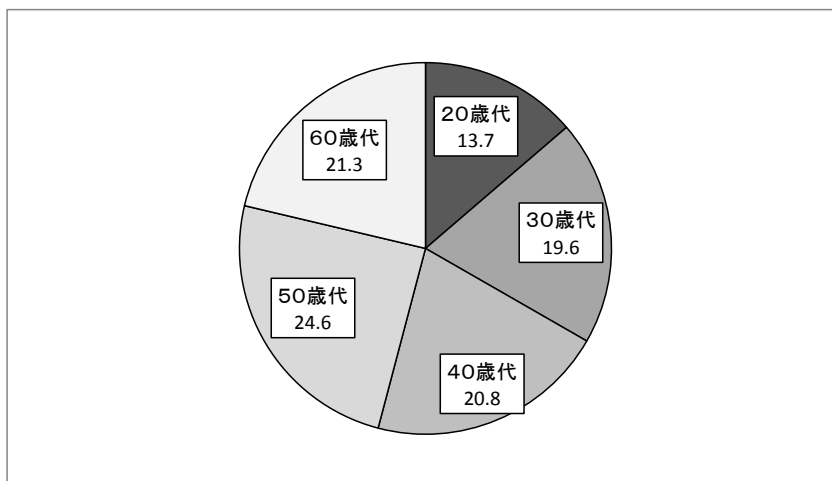
## 5. 回答者の属性

---

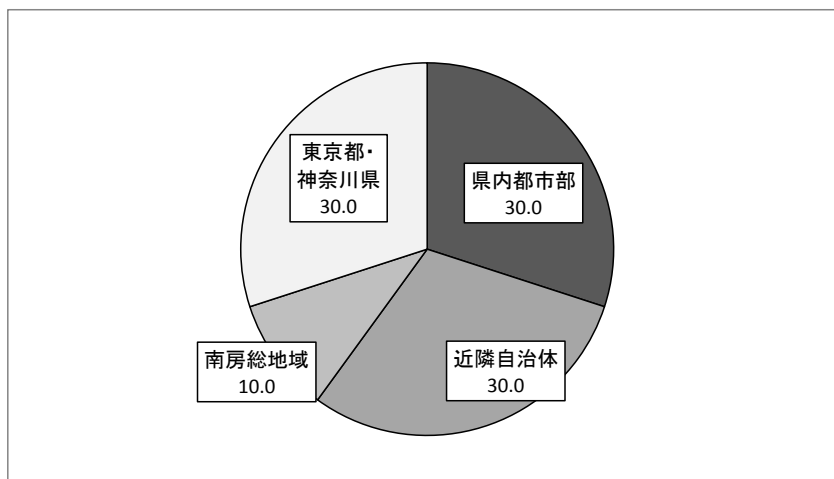
### (1) 性別



### (2) 年齢階層

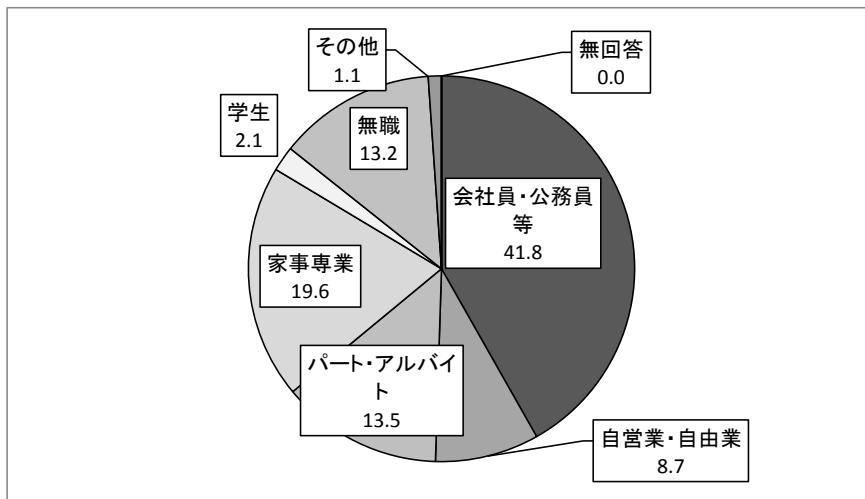


### (3) 居住地区





(4) 職業



(5) 家族構成

